

WingNeo[®] INFINITY 2024

導入ガイド

WingNeo[®] INFINITY 2024

推奨動作環境

2023年3月現在

対応 OS : Windows[®]11 Pro
Windows[®]10 Pro
64bitアプリケーションとしてインストールが可能です。

環境 : Microsoft[®] .NET Framework 4.8
成果ダイレクト電納 / オンライン特例方式 / 完全オンライン方式プラス / 登記書類作成支援
調査報告書作成支援 / 登記情報取得サービス / Google[™] クラウドサービス 使用時に必要
Java[™] Runtime Environment 7 以上 (PDF署名・XML署名 使用時)
Java[™] Runtime Environment 8のご利用については【本紙 P.18】をご参照ください。
Microsoft[®] Office 2016 / 2019 いずれも32bit版
Microsoft 365[®] (バージョン2209) 64bit版
デスクトップ版のみ対応 ストアアプリ版は非推奨
※ 一部の成果出力と帳票 Microsoft[®] Excel[®] 出力を行うクライアント PC に必要
CPU : Intel[®] Core[™] i5以上推奨 (最低 Intel[®] Core[™] i3以上)
画面解像度 : 1280×960以上 HD : 1GB 以上
メモリ : 8GB以上



Wingneo[®] INFINITY 2024 導入ガイド【初版】

発行 アイサンテクノロジー株式会社

2023-03 愛知県名古屋市中区錦3丁目7番14号 ATビル
TEL : 052-950-7500 / FAX : 052-950-7507
Copyright 2023 AISAN TECHNOLOGY CO.,LTD.

- 無断複製・転記を禁じます。
- 記載のコンテンツは一部開発中コンテンツを含み、実際の機能・画面構成とは異なる場合があります。
- 本製品との説明が異なる場合、本製品が優先されます。

※ ソフトウェアの著作権につきましては使用許諾をご参照ください。
※ Microsoft, Windows, .NET Framework, Microsoft 365, Office 365, Microsoft Office, Microsoft Excel は、米国 Microsoft Corp. の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
※ Google は Google Inc. の商標です。
※ Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
※ Intel Core は、Intel Corporation またはその子会社の米国及びその他の国における商標です。
※ 本紙に記載されている会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

**AISAN**
TECHNOLOGY CO.,LTD.

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦三丁目7番14号 ATビル

 **0570-064-457**

<https://www.aisantec.co.jp/>



Wingneo®INFINITY 導入ガイド

このたびは、測量・土木設計・登記業務用アプリケーション Wingneo®INFINITY をご導入いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、Wingneo®INFINITY を動作させるために必要となる環境について、インストール・アンインストール方法、バージョンアップの際の手順と、ライセンス管理ツール、及び外業向けライセンス持ち出しについて解説しております。

1 作業に入る前に	2
推奨動作環境	2
2 一括インストール	3
3 セットアップ	4
MSライブラリのセットアップ	4
HASPドライバのセットアップ	5
PDFドライバのインストール	6
HASPとINFINITYのセットアップタイプ	7
Wingneo®INFINITY新規インストール	8
サーバー・サーバー&クライアントのセットアップ	9
クライアントのセットアップ	15
スタンドアロンのセットアップ	16
スタンドアロン&クライアントのセットアップ	16
追加プログラムのセットアップ	17
JAVA™ランタイムのセットアップ	18
3D点群ツールのセットアップ	19
セットアップ後に必要な設定	20
音声読み上げ機能用ファイルのセットアップ	22
4 アンインストール	23
Wingneo®INFINITY本体・追加プログラム、自在眼のアンインストール	23
3D点群ツールのアンインストール	25
音声読み上げ機能用ファイルのアンインストール	25
5 バージョンアップ	26
追加プログラム・JAVA™ランタイムのバージョンアップ	29
6 使用するプログラムの種類の変更	30
7 HASP更新ツール	32
HASP更新ツールのダウンロード	32
HASP更新ツールの使用	33
8 ライセンス管理ツール	34
ネットワーク・キー&モバイル・キー間のライセンス移動	34
ローカルライセンスの確認	35
電子平板へのライセンス持ち出し	36
PDAへPocketシリーズとしてライセンス持ち出し	37
ライセンス移動と外業製品への持ち出しイメージ	40
9 Wingneo®データのコンバート	41

1 作業に入る前に

推奨動作環境

Wingneo®INFINITY2024を正常に動作させるためには、以下の動作環境が必要となります【2023年3月現在】。

オペレーティングシステム

Windows® 11 Pro / Windows® 10 Pro

※ 64bitアプリケーションとしてインストールが可能です。

環境

Microsoft®.NET Framework 4.8

※ 成果ダイレクト電納 / オンライン特例方式 / 完全オンライン方式プラス / 登記書類作成支援 / 調査報告書作成支援 / 登記情報取得サービス / Google™クラウドサービス を使用するクライアントPCに必須

Microsoft® Office 2016 / 2019 いずれも32bit版

Microsoft 365® (Office 365®) [バージョン:2209]

※ デスクトップ版のみ対応。ストアアプリ版は非推奨

※ 一部の成果出力と帳票Excel®出力を行うクライアントPCに必須

Java™ Runtime Environment 7 以上 [JRE7/JRE8]

※ 電子署名を行うクライアントPCに必須

推奨画面解像度 1280×960以上

メモリ 8GB以上

HD 1GB以上推奨

CPU Intel® Core™ i5 以上推奨 [最低Intel® Core™ i3以上]

3D点群ツールをお使いの場合の推奨環境

OS: Windows®10 Pro / Windows® 11 Pro

CPU: Intel® Core™ i5以上推奨 [最低 Intel® Core™ i3以上]

メモリ: 8GB以上

グラフィックメモリ: 512MB以上 グラフィックボード OpenGL3.0以上

※現場データや設定ファイル等の領域は別途必要になります。

2 一括インストール

インストールに関する作業を軽減

Wingneo®INFINITY2024よりプログラムの一括インストールが搭載されました。

・MSライブラリ ・HASPドライバ ・PDFドライバ ・WingneoINFINITY 2024 ・WingneoINFINITY追加プログラム 2024、これらを順序にそってインストールしていくため、セットアップ作業に関する負担を軽減できます。

※ お客様ごとにバージョン選択が必要なJAVA™ランタイムのインストールや、やってみよう一括インストール・3D点群ツール・マップビューワは、使用目的にあわせて個別にインストールください。

！ 注意

インストールするには、管理者の権限が必要です。

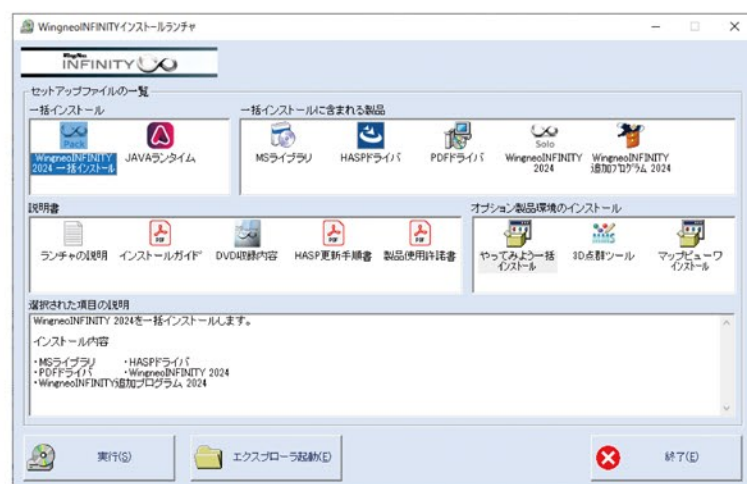
インストールする際は、「Administrator」または「Administrators」グループに所属するユーザー一名でログオンしてください。

🔍 操作手順

- 1 Wingneo®INFINITYセットアップDVD-ROMをコンピューターにセットします。
「Wingneo®INFINITYインストールランチャ」が自動起動します。

※ 自動起動しない場合は、「エクスプローラー」で、DVD-ROMディスク内の「InstLauncher.exe」を起動してください。
ランチャ起動後は、「エクスプローラー」を終了してから先へ進んでください。

- 2 [Wingneo®INFINITY2024 一括インストール]を選択し、[実行(S)]をクリックしてセットアップを実行します。



- 3 インストールが必要な項目にチェックが自動的に入りますので[インストール]をクリックします。

※ すでにインストールが完了したのものには「(インストール済み)」と記載されます。

- 4 それぞれライセンス条項やインストール先が表示されますので、[同意]やインストール先の設定をして次へと進みます。

- 5 すべてのインストールが完了すると「インストールに成功しました」と表示されます。

※ すべて「(インストール済み)」となった場合でも、再度個別にインストールをしたい場合には [一括インストールに含まれる製品]の個別のアイコンからインストールを行います。
(例: INFINITY本体のセットアップタイプを後から変更したい場合 等)

3 セットアップ

・MSライブラリ ・HASPドライバ ・PDFドライバ ・Wingneo®INFINITY 2024 ・Wingneo®INFINITY追加プログラム 2024は、「2 一括インストール」により連続してインストールされますが、ライセンス同意やインストール場所の指示等は個別のセットアップと同様になります。

「N (青色) : 個別インストール時のみ参考にする手順」

「N (紺色線付き) : 個別/一括インストール双方で選択を要する手順」 として表記しております。

MSライブラリのセットアップ

「MSライブラリ」をインストールします。

「MSライブラリ」内には「VCREDIST2008 セキュリティ更新プログラム」「VCREDIST2010 セキュリティ更新プログラム」「VCREDIST2015-2022 セキュリティ更新プログラム」「Microsoft®.NET Framework4.8」「.NET Framework4.8の日本語 LanguagePack」がそれぞれ格納されています。お客様の環境に応じてセットアップを行うようにしてください。

！ 注意

インストールするには、管理者の権限が必要です。

インストールする際は、「Administrator」または「Administrators」グループに所属するユーザー一名でログオンしてください。

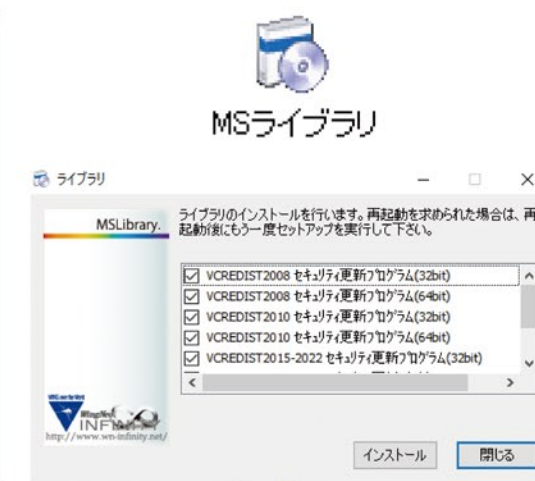
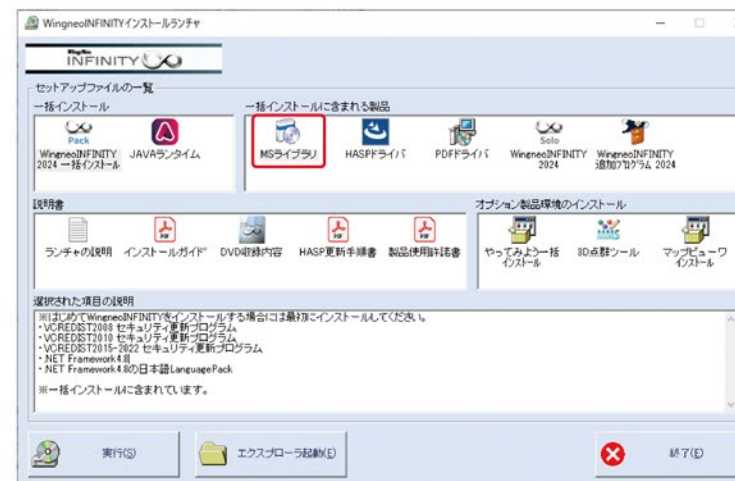
初めてWingneo®INFINITYをセットアップする場合には必ず最初にインストールしてください。

🔍 操作手順

- 1 Wingneo®INFINITYセットアップDVD-ROMをコンピューターにセットします。
「Wingneo®INFINITYインストールランチャ」が自動起動します。

※ 自動起動しない場合は、「エクスプローラー」で、DVD-ROMディスク内の「InstLauncher.exe」を起動してください。
ランチャ起動後は、「エクスプローラー」を終了してから先へ進んでください。

- 2 [MSライブラリ]を選択し、[実行(S)]をクリックしてセットアップを実行します。



- 3 「ライブラリ」ウィンドウが立ち上がります。

お使いの環境に応じて、インストールが必要な項目にチェックが自動的に入りますので[インストール]をクリックします。

- 4 ライセンス条項が表示されますので、[同意する]にチェックして[インストール]をクリックします。

- 5 完了メッセージが表示されますので[完了]をクリックします。

※ 以下、同様の手順でインストールが必要なライブラリを順にセットアップしていきます。

HASPドライバのセットアップ

HASPキーを接続するPC (INFINITYのサーバーPCやモバイル/スタンドアロン、電子平板)クライアントPCにはHASPのデバイスドライバをインストールします。モバイルHASPを付けて運用する場合もあるため、クライアントPCへのドライバインストールもおすすめします。【詳しくは P.7 参照】

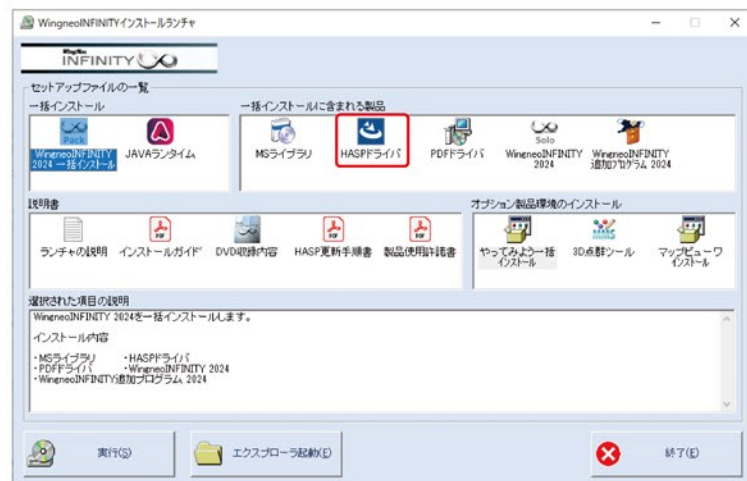


注意

デバイスドライバのインストールをするには、管理者の権限が必要です。インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。HASPデバイスドライバのセットアップ実行前に、HASP キーを接続しないでください。コンピューターがHASPキーを認識できないことがあります。

操作手順

- 1 Wingneo®INFINITYセットアップDVD-ROMをコンピューターにセットします。「Wingneo®INFINITYインストールランチャ」が自動起動します。
- 2 [HASPドライバ]を選択し、[実行(S)]をクリックします。HASP デバイスドライバのセットアップが実行されます。



- 3 [NEXT]をクリックします。
- 4 [I accept the license agreement] (上段)を選択し、[Next]をクリックします。
- 5 [Finish]をクリックし、インストールを完了します。

以上でHASPデバイスドライバのセットアップは完了です。HASPキーをUSBポートに接続します。

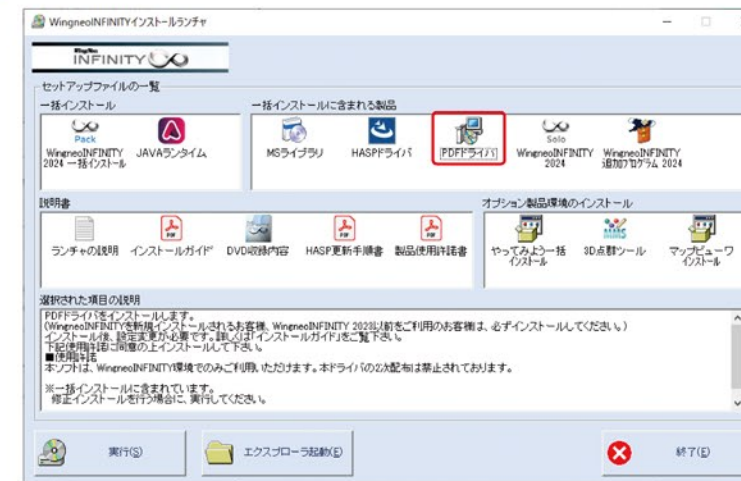
PDFドライバのインストール

注意

ドライバをインストールするには、管理者の権限が必要です。インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。

操作手順

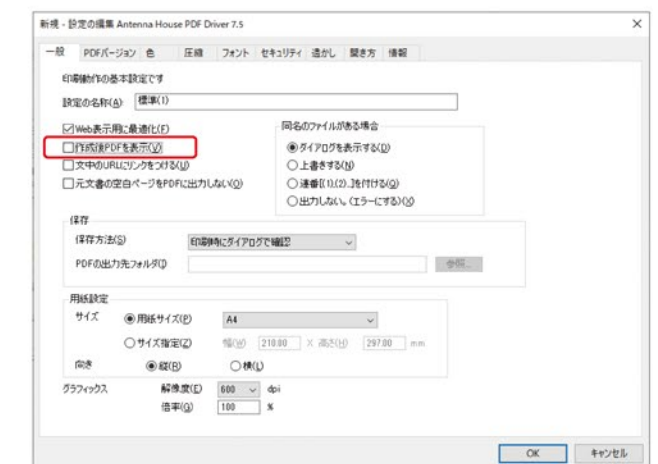
- 1 Wingneo®INFINITYセットアップDVD-ROMをコンピューターにセットします。「Wingneo®INFINITYインストールランチャ」が自動起動します。
- 2 [PDFドライバインストール]を選択し、[実行(S)]をクリックします。



- 3 「Antenna House PDF Driver セットアップウィザードの開始」が表示されたら、[次へ]をクリックします。「[上書きしますか?]'が表示された場合は、[はい]をクリックしてインストールを行います。
- 4 「使用許諾契約書の同意」画面が表示されます。内容を確認後、[同意する]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 5 PDFドライバの「インストール先の選択」画面が表示されます。インストール先を設定し、[次へ]をクリックします。
- 6 「Officeアドインの登録」画面が表示されます。[登録しない]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 7 「プログラムグループの指定」画面が表示されます。[次へ]をクリックしてインストールを行います。
- 8 PDFドライバインストール完了後、ドライバの設定変更を行います。

※ デフォルト設定では、PDF変換後に変換されたPDFを表示させる機能がオンになっておりますが、大量の変換時に本機能を利用しますと、極端にスピードが低下したり、最悪の場合はフリーズする可能性もありますので、設定を変更します。

- 9 プリンターとスキャナーの画面で[Antenna House PDF Driver 7.5]を選択し、[管理]-[印刷設定]をクリックします。
- 10 [編集]ボタンをクリックします。



- 11 「作成後PDFを表示」にチェックが付いている場合はチェックを外します。
- 12 設定の名称は「標準(1)」のまま、[OK]をクリックし終了します。

HASPとINFINITYのセットアップタイプ

【INFINITY本体 インストール前の予備知識】

HASPドライバのインストールの前に、Wingneo®INFINITYのセットアップタイプに対するHASPドライバの必要性有無についてご説明します。

HASPには、ご購入時に設定されているHASPキータイプという「種類」があります。

- スタンドアロン・キー ● ネットワーク・キー ● モバイル・キー の3タイプです。

INFINITYをPCにクライアントでセットアップし、サーバーのソフトウェアライセンスを利用する場合、クライアントのPCにはHASPの装着およびHASPドライバは必要ありませんが、モバイル・キーをクライアントのPCに接続してモバイル・キー内のライセンスとサーバーのソフトウェアライセンスを合算して使用することも可能です。

その場合には(モバイル・キーを装着して使うため)クライアントで運用しているPCにもHASPドライバをインストールしておく必要があります。

下表(表1)にINFINITYのセットアップタイプに対するHASPキーのタイプと装着について示します。

ご使用のHASPキータイプに応じたINFINITYセットアップとHASPドライバのインストールを各PCで行ってください。

セットアップタイプ	HASP キータイプ		
	スタンドアロン・キー	ネットワーク・キー	モバイル・キー
クライアント	×	○	×
サーバー	×	○+HASP	×
スタンドアロン	○+HASP	×	○+HASP
カスタム	○+HASP	○+HASP	○+HASP
サーバー&クライアント	×	○+HASP	×
スタンドアロン&クライアント	×	×	○+HASP

○+HASP : そのコンピューターにHASPキーを接続することを意味します。

HASP キーを接続するには、HASPデバイスドライバのインストールが必要です。

× : インストールは完了しても、有効に動作しません。特にサーバーインストールは、自動実行プログラムを含み、インストール完了後即実行しますので、不要な場合はインストールしないでください。

(表1)

クライアント

ネットワークのクライアント環境をインストールします。

サーバー

ネットワークのサーバー環境をインストールします。
ネットワーク・ライセンス・キーが必要です。

スタンドアロン

ネットワーク機能を使用しない単体起動ができる環境をインストールします。
モバイル、又は、スタンドアロン・ライセンス・キーが必要です。

カスタム

既存のコンピューター、ネットワーク環境の事情により、INFINITYサーバー機能を複数のコンピューター、ドライブ、フォルダに分散してインストールする場合に選択します。

サーバー & クライアント

サーバー環境とクライアント環境を同時にインストールします。
1台のコンピューターでサーバーとクライアントを兼用する場合に選択します。

スタンドアロン & クライアント

スタンドアロン環境とクライアント環境を同時にインストールします。INFINITYをネットワークに参加、または単体起動の切り替えができます。

注意

製品ならびに付属ドライバ等のインストール・アンインストール・バージョンアップをするには、管理者の権限が必要です。インストールの際は、「Administrator」または「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。

ユーザー名は半角英数で登録してください。また、ユーザーにはパスワードを登録してください。

コンピューターにプログラムをインストール・アンインストールする際には、ウィルスセキュリティソフトを停止または終了させてからの実行をお勧めいたします。

Wingneo®INFINITY 新規インストール

Wingneo®INFINITYセットアップDVD-ROMからインストールランチャを起動し、Wingneo®INFINITY2024および必要なプログラム・環境をインストールします。

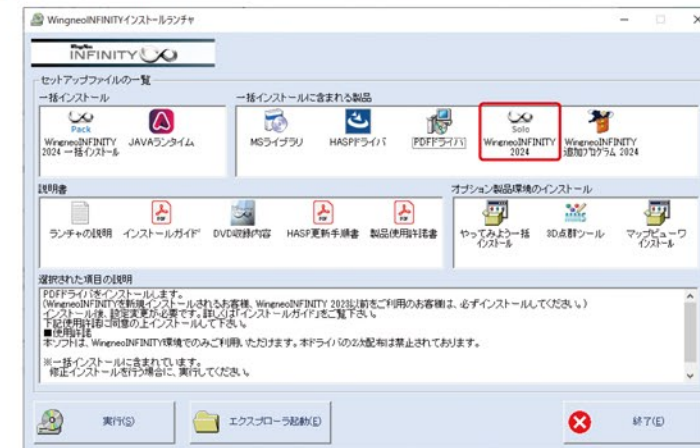
注意

セットアップタイプに関わらず、セットアップ後に、インストールされたファイルを手動で削除、移動などしないでください。セットアップがインストールされた環境を正しく認識できなくなり、アンインストール、バージョンアップなどが正常に機能しくなくなります。

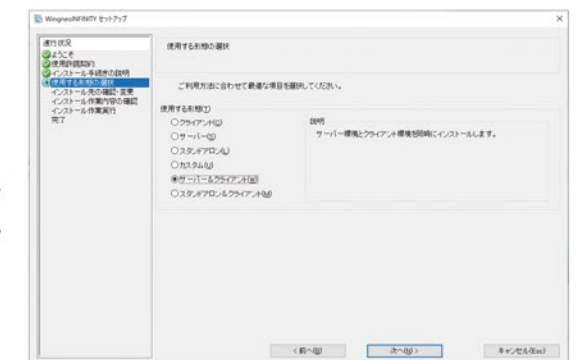
実行前に、PCを再起動することをお勧めします。

操作手順

- 1 Wingneo®INFINITYセットアップDVD-ROMをコンピューターにセットします。「Wingneo INFINITYインストールランチャ」が自動起動します。
- 2 [WingneoINFINITY2024]を選択し、[実行(S)]をクリックします。



- 3 「Wingneo®INFINITY用のセットアッププログラムへようこそ」の画面が表示されます。[次へ]をクリックします。
- 4 使用許諾契約画面が表示されます。内容を確認後、[同意します]を選択し[次へ]をクリックします。
- 5 インストール手続きの説明画面が表示されます。[次へ]をクリックします。
- 6 使用する形態(セットアップタイプ)の選択画面が表示されます。インストールするセットアップタイプを選択し、[次へ]をクリックします。

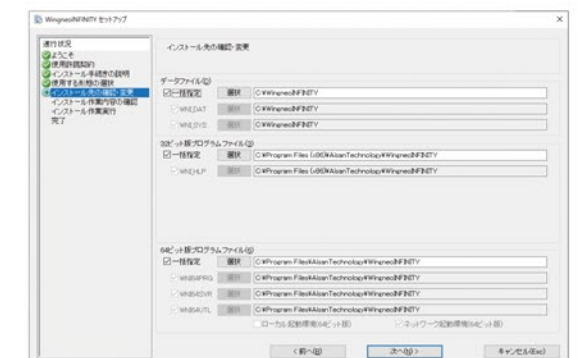


- 7 インストール先の確認・変更画面が表示されます。使用する形態(セットアップタイプ)や使用するプログラムの種類によっては、各種データファイルの格納場所や起動方法を選択することができます。

※ インストール先や起動環境の設定がグレー表示になっているものにつきましては、個別に設定をすることができません。

- 8 使用する形態(セットアップタイプ)別に、セットアップを進めます。

- 使用する形態(I)
- クライアント(C)
 - サーバー(S)
 - スタンドアロン(L)
 - カスタム(U)
 - サーバー & クライアント(W)
 - スタンドアロン & クライアント(M)



「サーバー & クライアント」でのインストール先設定例

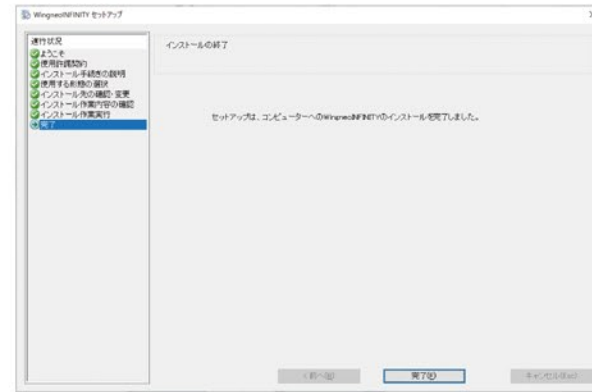
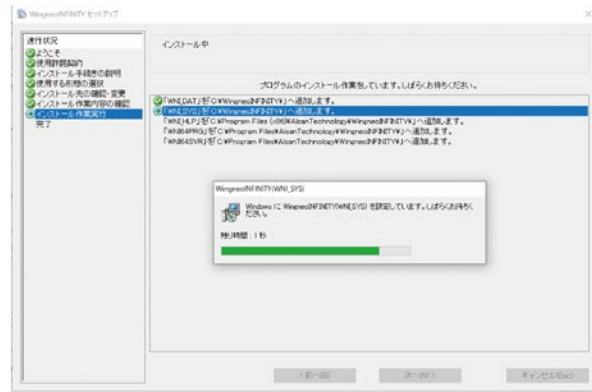
サーバー / サーバー & クライアントのセットアップ

「Wingneo®INFINITYネットワークサーバー」にするコンピューターに各種ファイルをインストールします。
 ※このセットアップは、Wingneo®INFINITYネットワークサーバーマネージャ (以下、INFINITYサーバーと言います) をサービスとしてインストールします。

操作手順 — セットアップ [サーバー]/[サーバー & クライアント]

- 1 「サーバー」・「サーバー & クライアント」を選択して次へ進むと、インストール先の確認・変更画面が表示されます。インストール先を設定し、[次へ]をクリックします。
 標準のインストール先は次ページ(表2)の通りです。
 インストール先を変更する場合は、[選択]をクリックします。
 ※ データファイルはProgram Filesにインストールしないでください。

- 2 インストール作業内容の最終確認画面が表示されます。[開始]をクリックします。
- 3 インストール作業実行画面が表示されます。インストール終了後は自動で次の画面に進みます。



- 4 [サーバー & クライアント]タイプの場合、クライアント環境の設定ツールである[INFINITYサーバー - 切り替えツール]が開きます。[ネットワーク一括設定]をクリックして、Wingneo®INFINITYのサーバーに設定するコンピューター名を選択し[OK]をクリックします。

「プログラムファイルサーバー」「ヘルプファイルサーバー」「システムファイルサーバー」「標準現場データサーバー」に選択したネットワークPC名が入力されたことを確認して[OK]をクリックします。

「変更内容をレジストリーに登録します。よろしいですか?」が表示されますので[はい]をクリックします。



- 5 インストールの終了画面が表示されます。[完了]をクリックしてインストールを完了します。
- 6 PCを再起動します。

次に、サーバー環境を構築します。

クライアントPCからINFINITYのプログラムや設定環境、現場データ、ヘルプなどを参照するためにフォルダの共有設定をします。標準のインストール先指定の場合、サーバーPCに下記フォルダおよび構成ファイルが作成されます。

フォルダ名	用途	フォルダ共有設定	標準インストール先
WNI_DAT	現場データサーバ	必須	C:\Wingneo\INFINITY\WNI_DAT
WNI_SYS	設定・帳票等の共有	必須	C:\Wingneo\INFINITY\WNI_SYS
WNI_HLP	ヘルプファイル共有	必須	C:\Program Files (x86)\AisanTechnology\Wingneo\INFINITY\WNI_HLP
WNI64PRG	プログラムファイル共有	必須	C:\Program Files\AisanTechnology\Wingneo\INFINITY\WNI64PRG
WNI64SVR	サーバー環境	不要	C:\Program Files\AisanTechnology\Wingneo\INFINITY\WNI64SVR
WNI64UTL	クライアント環境	不要	C:\Program Files\AisanTechnology\Wingneo\INFINITY\WNI64UTL

(表2)

上記「フォルダの共有設定」が「必須」のフォルダを「Wingneo®INFINITYクライアント」からアクセスできるようにするため、アクセス権の設定を行います。

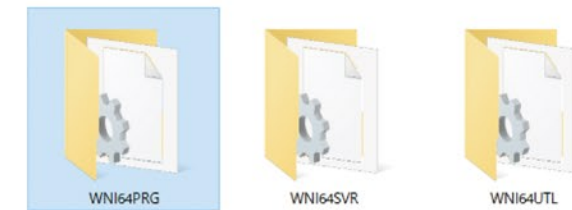
(表2)のフォルダ共有設定 - 必須の4フォルダに共通して以下の操作設定をします。

※ 「WNI64PRG」フォルダを例示していますが、「WNI_DAT」「WNI_SYS」「WNI_HLP」フォルダにも同様の設定をしてください。

操作手順 — クライアントPCから参照するためのフォルダの共有

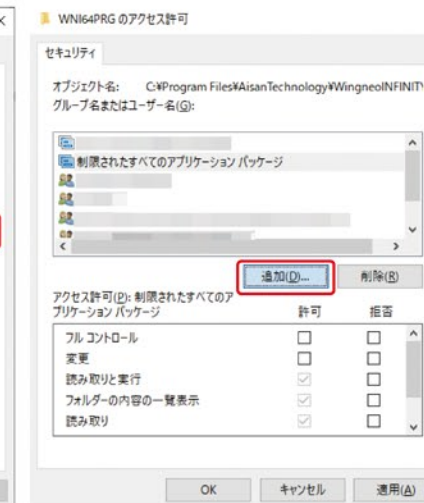
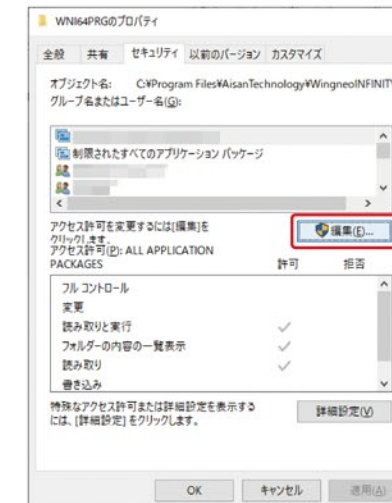
- 1 エクスプローラーより、上記あるいは任意でインストール先指定をしたフォルダのある場所を表示します。フォルダ名の上で右クリックをし、[プロパティ]を開きます。

← → ↑ ↓ PC > Windows (C:) > Program Files > AisanTechnology > WingneoINFINITY

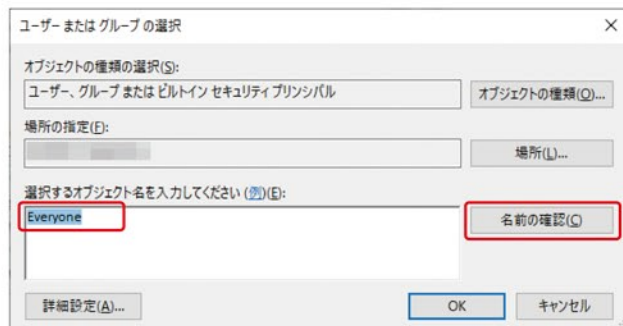


プログラムファイルフォルダ「WNI64PRG」での例

- 2 タブを[セキュリティ]に切り替えます。「グループ名またはユーザー名」のリストに「Everyone」がない場合は、[編集]をクリックし、さらに[追加]をクリックします。

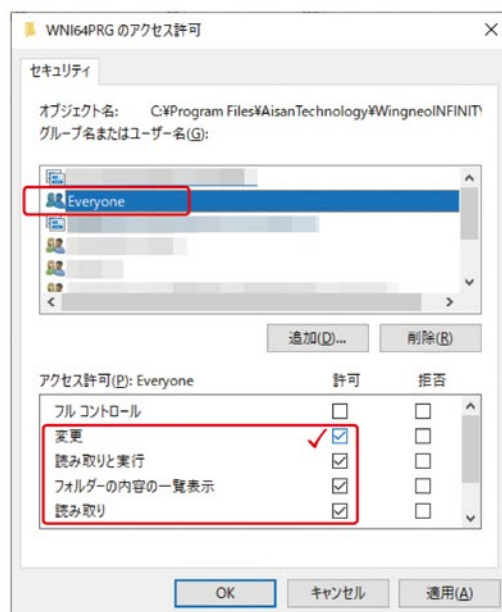


- 3 「選択するオブジェクト名を入力してください」に「Everyone」と入力します。
[名前の確認]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



アクセスが許可されたユーザーとして「Everyone」が追加され、Everyone (どのユーザーも) が本フォルダにアクセスできるようになります。

- 4 「Everyone」が追加されていることを確認後、アクセス許可のレベル設定をします。
「Everyone」を選択して「変更」にチェックを入れます。(「変更」にチェックを入れると、「読み取りと実行」「フォルダーの内容の一覧表示」「読み取り」「書き込み」にもチェックが入った状態になります。)



- 5 [適用]、[OK]をクリックします。
一連の操作によりセキュリティのアクセス権変更が適用されます。



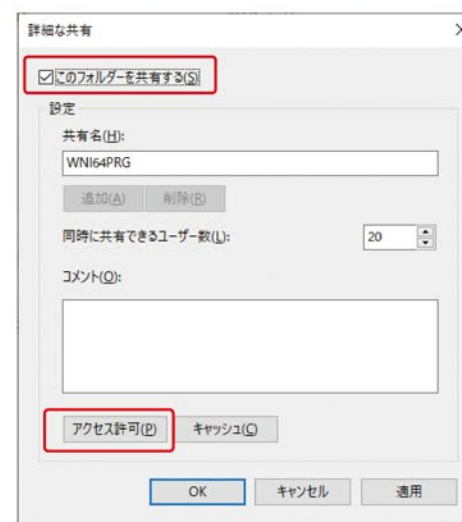
次に、フォルダの共有を行います。
前項までは [P.10 表2] のフォルダ共有設定—必須の4フォルダに共通した操作でしたが、「フォルダの共有」では2で2パターンの設定内容に分岐します。

操作手順 — フォルダの共有

- 1 エクスプローラーより、上記のフォルダを開きます。フォルダ名の上で右クリックして[プロパティ]を開きます。タブを[共有]に切り替え、[詳細な共有]をクリックします。

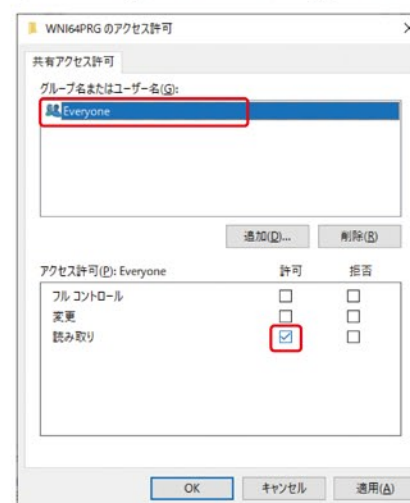


- 2 [このフォルダを共有する]にチェックをつけて、[アクセス許可]をクリックします。



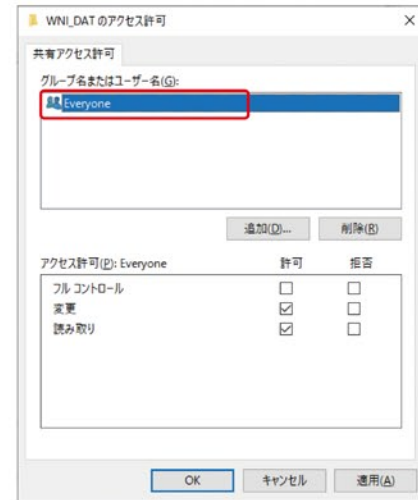
「WNI_HLP」・「WN164PRG」の場合

「グループ名またはユーザー名」の「Everyone」を選択し「読み取り」にチェックを入れます。[適用]、[OK]をクリックします。



「WNI_DAT」「WNI_SYS」の場合

「グループ名またはユーザー名」の「Everyone」を選択し、「変更」「読み取り」にチェックを入れます。[適用]、[OK]をクリックします。



「WNI_DAT」のアクセス許可設定

- ※ 「Everyone」を追加するとすべてのユーザーがアクセスできます。
- ※ 高セキュリティを希望される方は全PCにグループを設定し、そのグループに対して上記設定を行ってください。

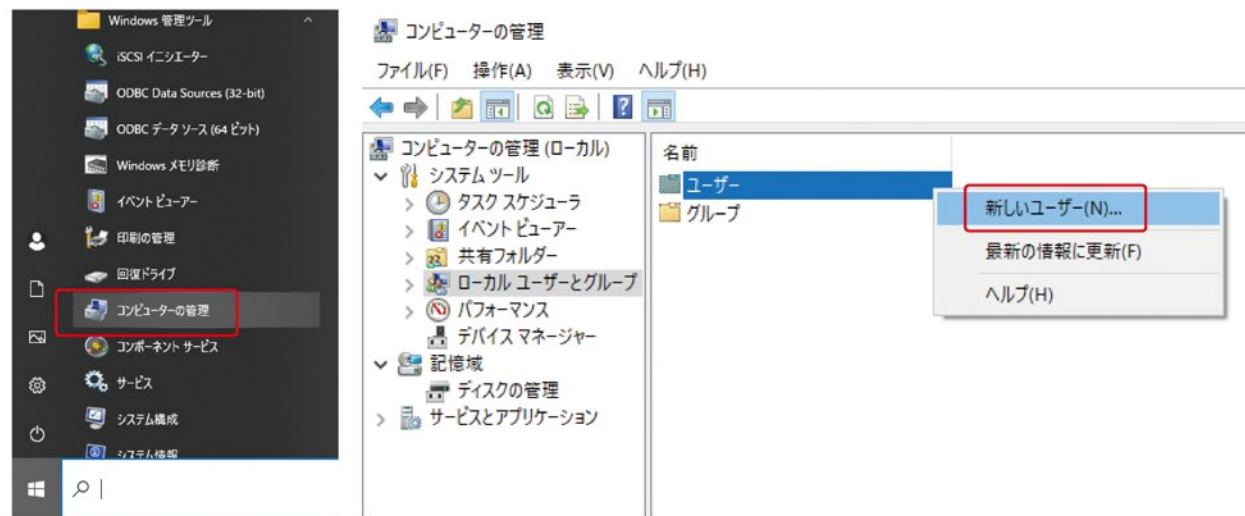
次に、接続するクライアントユーザーの登録を行います。

クライアントが上記のフォルダやINFINITYサーバーにアクセスするためにクライアントのユーザー名、パスワードを登録します。グループへクライアントのユーザー名を追加します。

操作手順 — サーバー環境の構築(ユーザーの追加)

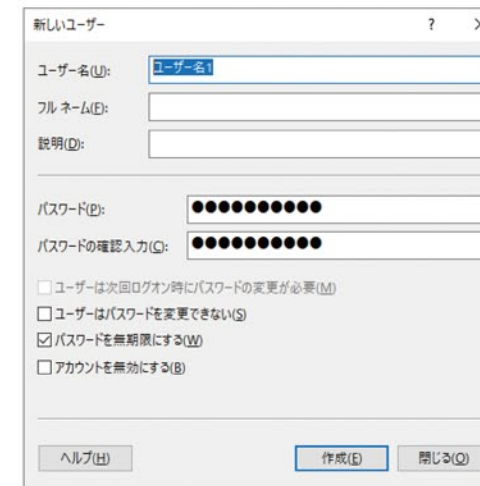
【ユーザー設定方法】 ※ サーバーにクライアントユーザーを追加します。Windows®10 Proの画面を表示しています。

- Windows®の「コンピュータの管理」を開きます。
 - Windows®10の場合: スタートメニュー(プログラムの一覧が出る箇所の下の方) - [Windows管理ツール] - [コンピュータの管理]、
 - Windows®11の場合: スタートボタンからスタートメニューを開き、「すべてのアプリ」(右上)を押し[Windowsツール] - [コンピュータの管理]
- 「システムツール」内の[ローカルユーザーとグループ]を選択し、右側に表示される[ユーザー]を右クリック、[新しいユーザー]を選択します。



- 「新しいユーザー」画面が表示されます。
ユーザー名: クライアントのユーザー名
パスワード: クライアントのパスワードを入力します。
- 「ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要」のチェックを外します。
- 「パスワードを無期限にする」にチェックを入れます。

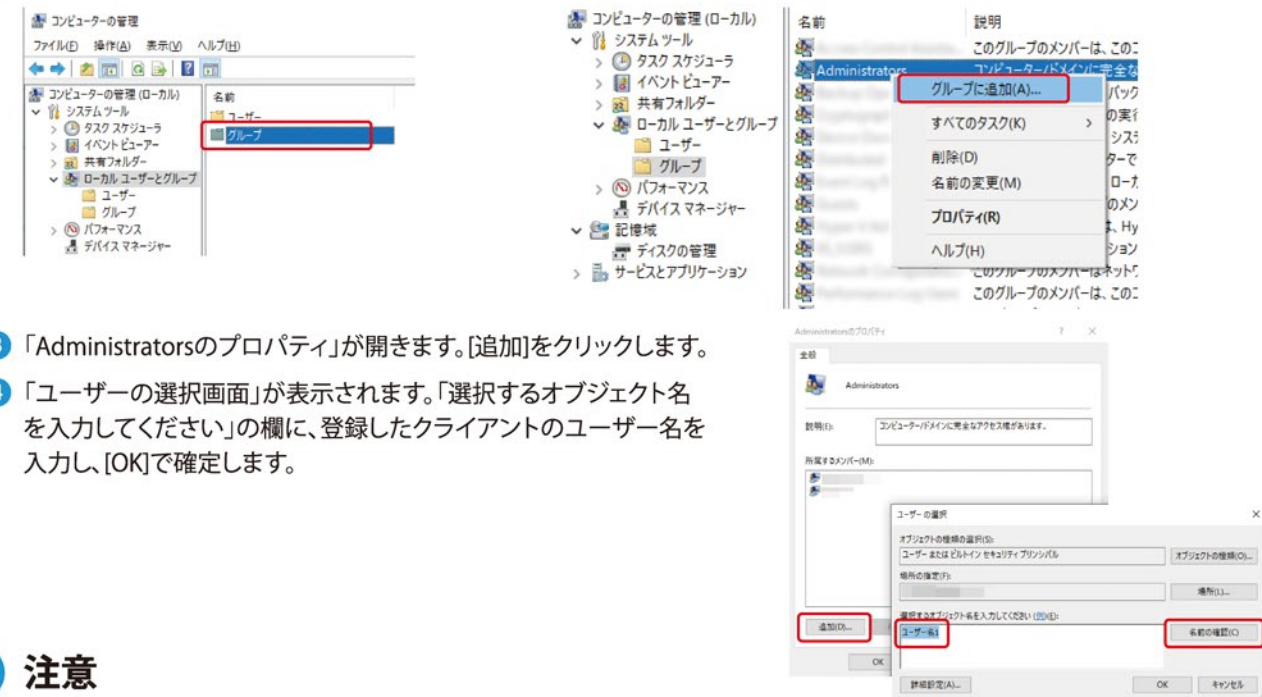
- [作成]をクリックしてユーザーを作成します。



続いて追加したユーザーをAdministratorsグループへ追加します。

操作手順 — グループ設定方法

- 「操作手順 — サーバー環境の構築(ユーザーの追加)」の冒頭の手順で[コンピュータの管理] - [ローカルユーザーとグループ]を選択します。
[グループ]をダブルクリックします。
- 「Administrators」のグループ名で右クリックをし[グループに追加]を選択します。



- 「Administratorsのプロパティ」が開きます。[追加]をクリックします。
- 「ユーザーの選択画面」が表示されます。「選択するオブジェクト名を入力してください」の欄に、登録したクライアントのユーザー名を入力し、[OK]で確定します。

注意

INFINITYサーバーの設定、クライアントの設定が完了した後にINFINITYネットワーク起動によって動作が確認できます。
サーバー&クライアントタイプのセットアップでは、1台のコンピューターであっても、仮想のネットワーク環境を作ることで動作します。そのためネットワークが使用できない環境では、Wingneo®INFINITYの起動はできません。
※ ネットワークが使用できない環境とは、ネットワークアダプタが実装されていない場合、インストール時に「ネットワークを使用する」設定になっていない場合があります。

ポイント

INFINITYサーバーは自動起動サービスとして登録されています。次回の電源投入時にはユーザー名によるログオンは不要です。
Wingneo®INFINITYクライアントを複数台導入する場合、コンピューターの台数に余裕がある限り、サーバーとクライアントは別々にインストールすることをおすすめします。
Wingneo®INFINITYネットワークサーバーマネージャーがバックグラウンドでネットワーク処理をしているため、一度に大量の座標、区画データなどの更新や、複雑な計算を実行するとCPUに負荷がかかり、ネットワーク全体のパフォーマンスが低下します。

クライアントのセットアップ

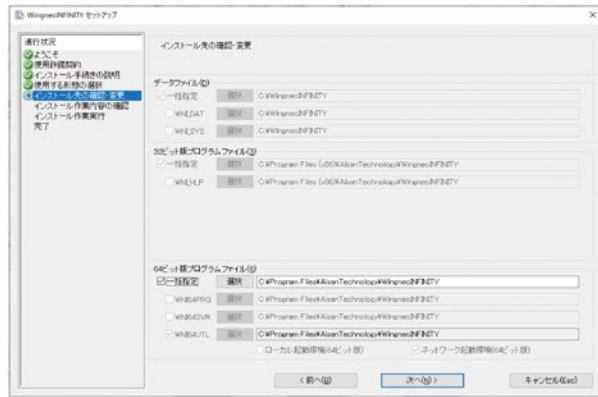
Wingneo®INFINITYネットワークサーバーで設定した環境にクライアント接続しプログラムライセンスや共有した現場データ・環境設定・ヘルプファイル等にアクセスする形で運用できるのが[クライアント]タイプのメリットです。Wingneo®INFINITYの起動や作業にHASP装着の必要はありません。

クライアントタイプのセットアップでは、サーバーへの接続設定とWingneo®INFINITYネットワーク起動用アイコン(ショートカット)をインストールします。

※ Wingneo®INFINITYクライアントのセットアップ時に、Wingneo®INFINITYサーバーのセットアップが完了している必要はありません。ただし、サーバーのコンピューター名は間違いなく入力してください。

操作手順

- 1 使用する形態(セットアップタイプ)から[クライアント]を選択して次へ進むと、インストール先の確認・変更画面が表示されます。インストール先を設定し、[次へ]をクリックします。標準のインストール先は以下の通りです。
C:¥Program Files¥AisanTechnology¥WingneoINFINITY
インストール先を変更する場合は、[選択]をクリックします。



- 使用する形態(T)
- クライアント(C)
 - サーバー(S)
 - スタンドアロン(L)
 - カスタム(U)
 - サーバー&クライアント(W)
 - スタンドアロン&クライアント(M)

- 2 インストール作業内容の最終確認画面が表示されます。[開始]をクリックします。
- 3 インストール作業実行画面が表示されます。インストール終了後は自動で次の画面に進みます。
- 4 INFINITYサーバー切り替えツールが起動します。
[ネットワーク一括設定]をクリックして、Wingneo®INFINITYのサーバーに設定するコンピューター名を選択し[OK]をクリックします。
「プログラムファイルサーバー」「ヘルプファイルサーバー」「システムファイルサーバー」「標準現場データサーバー」に選択したネットワークPC名が入力されたことを確認して[OK]をクリックします。
「変更内容をレジストリーに登録します。よろしいですか?」が表示されますので[はい]をクリックします。



- 5 セットアップが完了すると、Windows®スタートメニューに以下のショートカットが作成されます。
[AisanTechnology INFINITY (64ビット版)]-[INFINITYネットワーク(64ビット版)]
クライアントPCからINFINITYが起動できることを確認します。

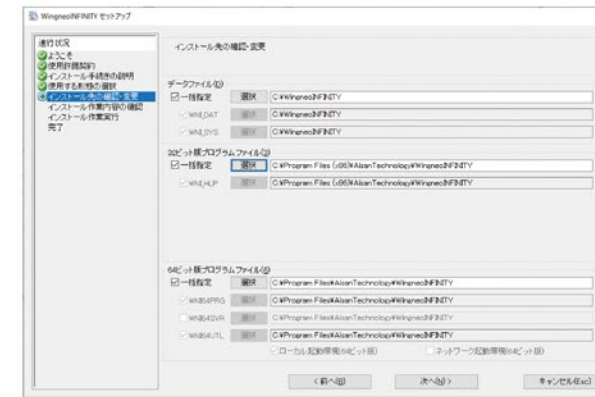


スタンドアロンのセットアップ

Wingneo®INFINITYを単体で起動するコンピューターに各種ファイル、及びWingneo®INFINITYローカル起動用アイコン(ショートカット)をインストールします。Wingneo®INFINITYの起動や作業には、HASPが装着されている必要があります。

操作手順

- 1 使用する形態(セットアップタイプ)から[スタンドアロン]を選択し、次へ進みます。
- 2 プログラム、データファイルを保存するフォルダを指定します。
※ [選択]ボタンでフォルダを変更できます。



- 使用する形態(T)
- クライアント(C)
 - サーバー(S)
 - スタンドアロン(L)
 - カスタム(U)
 - サーバー&クライアント(W)
 - スタンドアロン&クライアント(M)

- 3 インストール作業内容の確認画面が表示されます。[開始]をクリックします。
- 4 インストール作業実行画面が表示されます。インストール終了後は完了画面に進みますので、[完了]でインストールを完了します。
- 5 セットアップが完了すると、Windows®のスタートメニューに以下のショートカットが作成されます。
[AisanTechnology INFINITY (64ビット版)]-[INFINITYローカル(64ビット版)]
HASPデバイスドライバのセットアップを実行し、HASPキーをUSBポートに接続すると、Wingneo®INFINITYを起動することができます。



スタンドアロン&クライアントのセットアップ

Wingneo®INFINITYスタンドアロンとクライアントの環境を1台のコンピューターにインストールします。

操作手順

- 1 使用する形態(セットアップタイプ)から[スタンドアロン&クライアント]を選択し、次へ進みます。
※ 必要な設定項目はスタンドアロンとクライアントを別々にインストールした場合と同様なため、以下に注意点のみ挙げます。
- 2 クライアントのセットアップを行います。
INFINITYサーバー切り替えツールの起動後、[ネットワーク一括設定]をクリックして、Wingneo®INFINITYサーバーをインストールしたコンピューター名を選択します。
- 3 インストールの終了画面が表示されます。[完了]でインストールを完了します。
- 4 セットアップが完了すると、ネットワーク用とローカル用の2つのショートカットがスタートメニューに作成されます。
※ Wingneo®INFINITYサーバーのコンピューターと接続されていない場合は、ネットワーク用のショートカットは機能しません。

ポイント

このセットアップでは、サーバーのインストールと同様のファイル構成がインストールされますが、フォルダの共有化は不要です。

追加プログラム(登記支援プログラム)のセットアップ

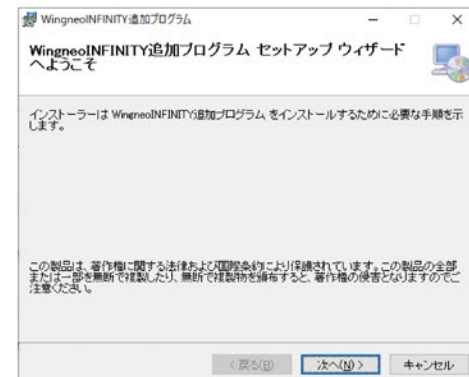
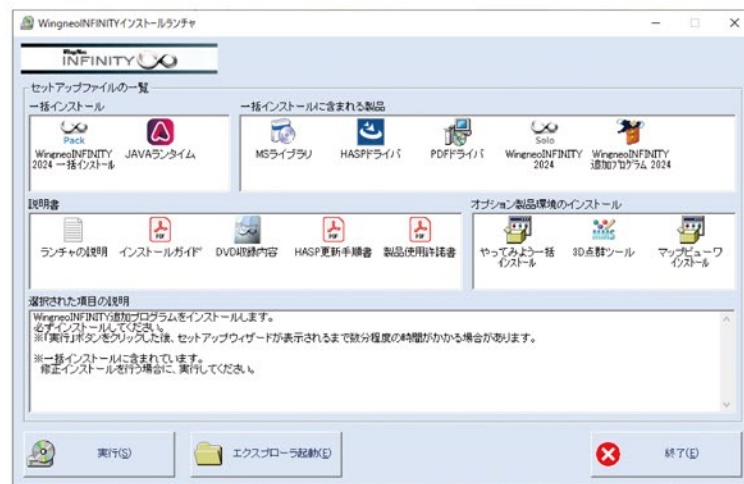
登記情報取得サービス、Google™クラウドサービス、スケジュール管理、不動産のオンライン登記申請・報酬額計算・登記関連書類・調査報告書作成等を使用するプログラムをパッケージ化しています。

注意

インストールするには、管理者の権限が必要です。
インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。
Wingneo®INFINITY2024本体プログラムをインストールした後にインストールください。

操作手順

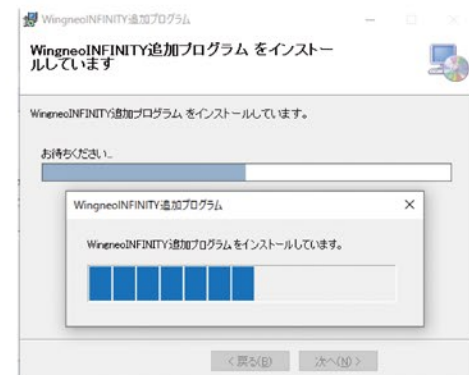
- 1 Wingneo®INFINITYセットアップDVD-ROMをコンピューターにセットします。「WingneoINFINITYインストールランチャ」が自動起動します。



- 2 [WingneoINFINITY追加プログラム 2024]を選択し、[実行(S)]をクリックします。
- 3 セットアップ画面が表示されますので、画面に従ってインストールします。



- 4 プログラムファイルのインストール先の選択画面が表示されます。インストール先を設定し、[次へ]をクリックします。
標準では[C:\AisanTechnology\Orgs\]の中にインストールされます。
※ 保存場所を変更する場合は、[参照]をクリックします。
※ Program Files内にはインストールしないでください。
本プログラムを動作させるためには、インストールフォルダ以下にファイル書き込みが行えるアクセス権を設定する必要があります。
- 5 ファイルコピーの開始画面が表示されます。そのまま[次へ]をクリックします。
- 6 インストール完了画面が表示されます。[閉じる]でインストールを完了します。



JAVA™ランタイムのセットアップ

Java™ Runtime Environment (JRE8)はXML署名ツール及びオンライン特例方式オプションで電子署名を行うため、またATM'S登記情報取得サービスで登記情報をダウンロードするのに必要な環境です。[JAVA™ランタイム]インストールアイコンは、JRE 8 オープンソース版の新規またはバージョンアップインストールする場合に実行します。

注意

インストールするには、管理者の権限が必要です。
インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。
下位または上位のバージョンがインストールされている場合は、一旦アンインストールを実施した後にインストールを開始してください。

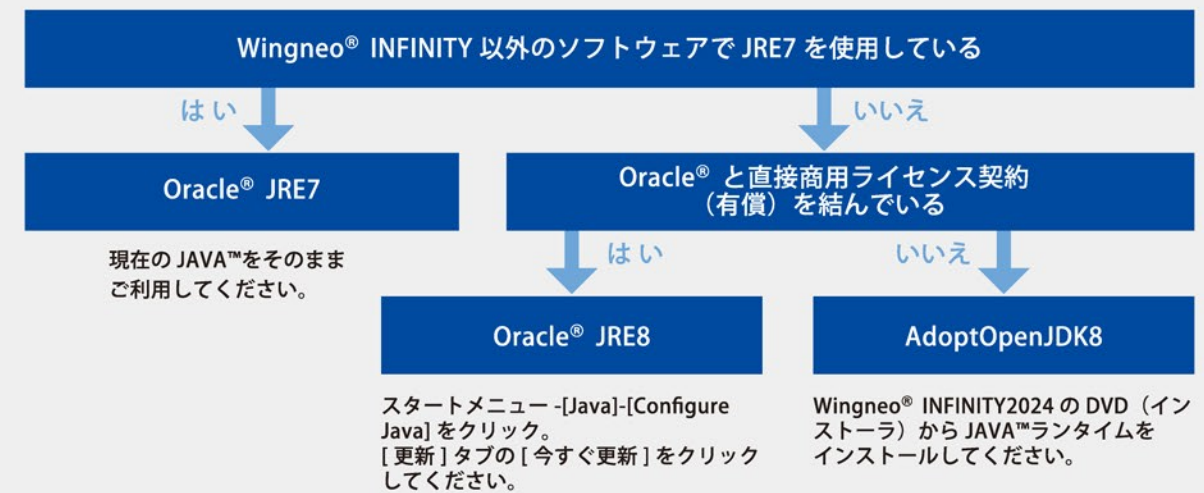
JRE最新版ご利用に際して、2019年4月16日のOracle®使用許諾に関する変更に伴い、Oracle®JAVA™利用時にはOracle®商用ライセンス契約が必要となります。
Oracle®と商用ライセンス契約を結んでいないお客様は、「AdoptOpenJDKのJAVA™8*1」のご利用をおすすめします。

※1 AdoptOpenJDK : IBM やマイクロソフトなどからなる AdoptOpenJDK コミュニティが提供している OpenJDK (JAVA™のオープンソース)。

ポイント — ざっくり言うとどういうこと? どう対処すれば良いの?

PDF/XML署名などで使われるJREには「Ver.8」という最新版がリリースされました。「Ver.8」は、①Oracle®社の商用ライセンス版 と ②業界団体が作ったオープンソース版が存在します。
③前Verである「Ver.7」を含めて、「何を使用するか?」がユーザー様のご判断(選択)となるため、下記をめやすにした選択をおすすめします。

ご利用するJAVA™の確認方法



操作手順

- 1 Wingneo®INFINITYセットアップDVD-ROMをコンピューターにセットします。「Wingneo®INFINITYインストールランチャ」が自動起動します。
- 2 [JAVAランタイム]を選択し、[実行(S)]をクリックします。
- 3 「Eclipse Temurin JRE with Hotspot 8u312-b07 (x86) セットアップウィザードへようこそ」が表示されたら、「次へ」をクリックします。
- 4 カスタムセットアップ画面が表示されますので、そのまま「次へ」をクリックします。
- 5 [インストール]をクリックして、インストールを行います。



3D点群ツールのセットアップ

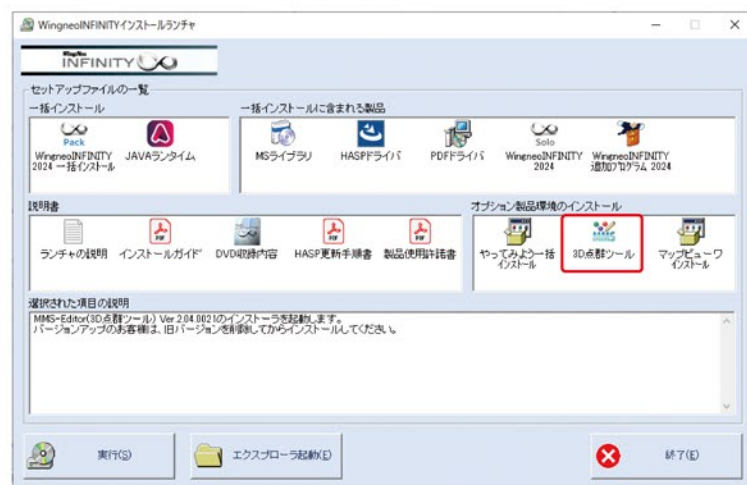
3D点群ツールをインストールします。

注意

- インストールするには、管理者の権限が必要です。インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。旧バージョンの3D点群ツールがインストールされている場合、旧バージョンをアンインストールした後にインストールください。

操作手順

- 1 Wingneo®INFINITYセットアップDVD-ROMをコンピューターにセットします。「WingneoINFINITYインストールランチャ」が自動起動します。
- 2 [3D点群ツール]を選択し、[実行(S)]をクリックします。



※インストールするプログラム名は「MMS-Editor(3D点群ツール)」と表示されます。

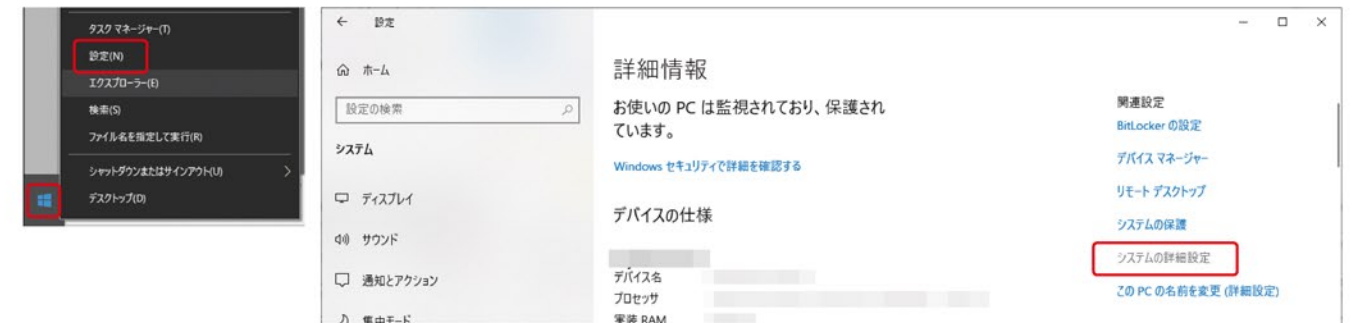
- 3 使用許諾契約画面が表示されますので、内容を確認後、「同意する」を選択して[次へ]をクリックします。
- 4 インストール先のフォルダと利用ユーザ(すべてのユーザ/このユーザのみ)を指定して[次へ]をクリックします。
- 5 [次へ]をクリックするとインストールを開始します。
- 6 「インストールが完了しました」のメッセージが表示されますので、[閉じる]をクリックしてセットアップを完了します。

セットアップ後に必要な設定

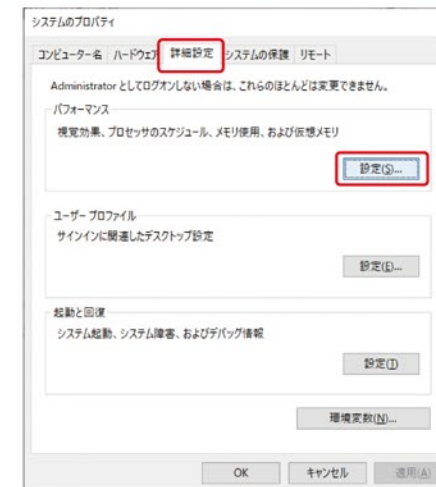
動作速度の低下を防ぐ設定と、PDFドライバライセンスのインストールを行います。動作速度の低下を防ぐ設定は、Wingneo®INFINITYをインストールする際に選択したセットアップタイプが「WingneoINFINITYサーバー」以外の場合に必要です。

操作手順 — 動作速度の低下を防ぐ設定

- 1 Windows®のスタートボタンを右クリックして、PCの[設定]を開きます。[システム]から左メニュー[詳細情報]を開き、右のメニュー表示[システムの詳細設定]を開きます。下記はWindows®10での例です。



- 3 「システムのプロパティ」が開きます。「詳細設定」タブの「パフォーマンス」の[設定]をクリックします。



- 4 「パフォーマンスオプション」が開きます。タブを「詳細設定」に切り替えます。「プロセッサのスケジュール」の[バックグラウンドサービス]を選択して[OK]をクリックします。

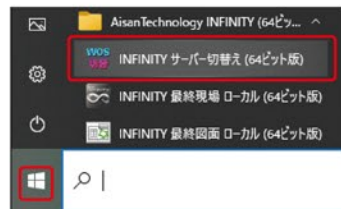


続いて、PDFドライバライセンスのインストールを行います。

※ INFINITYインストール時にインストールしたPDFドライバを「使用する」設定で、ドライバインストールとは異なります。

操作手順 — PDFドライバライセンスのインストール

- 1 Windows®のスタートメニューより、[AisanTechnology INFINITY (64ビット版)]-[INFINITY サーバー切り替え (64ビット版)]を起動します。



- 2 「INFINITYサーバー切り替えツール」画面が開きます。[PDFドライバライセンスのインストール]をクリックします。



- 3 インストール完了画面が表示されます。以上でPDFドライバライセンスのインストールは完了です。[OK]をクリックして「INFINITYサーバー切り替えツール」画面に戻り、[OK]をクリックして終了します。



音声読み上げ機能用ファイルのセットアップ

注意

「WingneoINFINITY付属プログラム」のDVD-ROMは、INFINITY 6の製品に付属しております青色のDVDをご利用ください。

本プログラムのインストールには時間がかかりますので、ご注意ください。

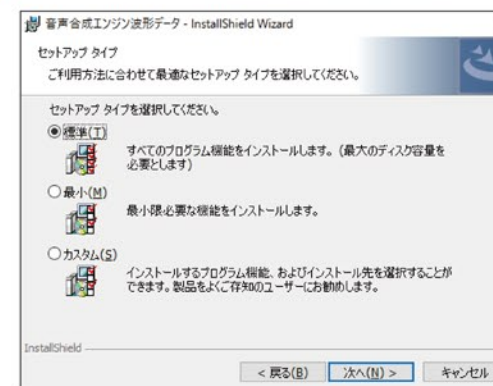
インストールするには、管理者の権限が必要です。インストールする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。

操作手順

- 1 「WingneoINFINITY付属プログラム」のDVD-ROMをコンピューターにセットします。音声合成エンジン波形データのInstallShieldウィザードが自動で起動します。[次へ]をクリックします。
※ 自動起動しない場合は、「エクスプローラー」で、DVD-ROMディスク内の「SetupVoice.exe」を起動してください。



- 2 セットアップタイプを選択します。[次へ]をクリックします。



標準:

全てのプログラム機能をインストールします。

最小:

最小限必要な機能をインストールします。

カスタム:

必要なプログラム機能、およびインストール先を選択してインストールします。

インストールタイプ	基本						高品質					
	女声 (keiko)			男声 (takashi)			女声 (yuki)			男声 (satoshi)		
	8Hz	16Hz	22Hz	8Hz	16Hz	22Hz	8Hz	16Hz	22Hz	8Hz	16Hz	22Hz
標準	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最小	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△
カスタム	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

周波数 (Hz) により音質が異なります。周波数が高い (Hzの数値が大きい) ほど、音質が良くなります。

○ … インストール対象

△ … インストールするかどうか選択

- 3 [カスタム]を選んだ場合、カスタムセットアップ画面が表示されます。インストールする機能とインストール先を選択し、[次へ]をクリックします。初期状態では、すべての機能がインストール対象になっています。
- 4 インストールの準備完了画面が表示されます。[インストール]をクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。
- 5 インストール完了画面が表示されます。[完了]をクリックします。

4 アンインストール

Wingneo®INFINITY本体・追加プログラム、自在眼のアンインストール

PCにインストールされたWingneo®INFINITYの各ファイル、ショートカット、Wingneo®INFINITY ネットワークサーバーマネージャ(サービス)、自在眼などを消去します。

注意

アンインストール時には、通常、インストールした時と同じユーザー名でログオンし、セットアップ(削除)を実行してください。インストールした時のユーザー名が不明の場合は、「Administrator」でログオンします。

Wingneo®INFINITYサーバーがインストールされている場合は、アンインストール実行時に管理者権限を持つユーザー名でログオンしてください。INFINITYサーバーのサービスをアンインストールするには、管理者の権限が必要です。

※ 管理者の権限が無いと、サービスを削除できないままセットアップを完了し、削除できなくなる可能性があります。

重要な現場データ、帳票、パーツ、条件などのファイルは、予めバックアップしてください。

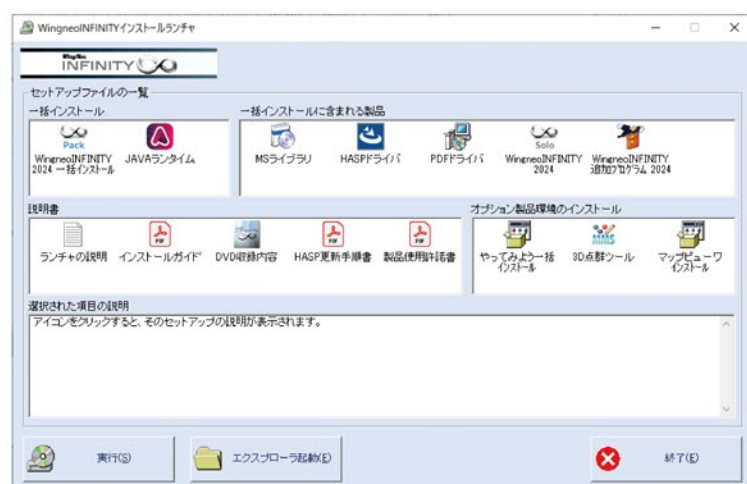
アンインストールでは、作成されたファイルは削除しませんが、そのファイルを再利用するすべが無くなります。

アンインストールする際には、必ず「自在眼」を先にアンインストールしてください。

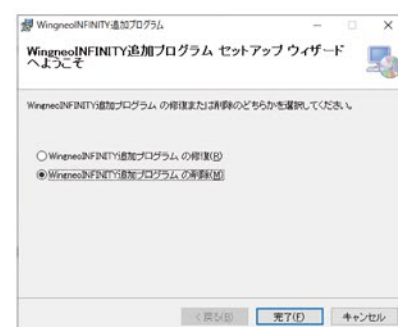
実行前に、PCを再起動することをお勧めします。

操作手順

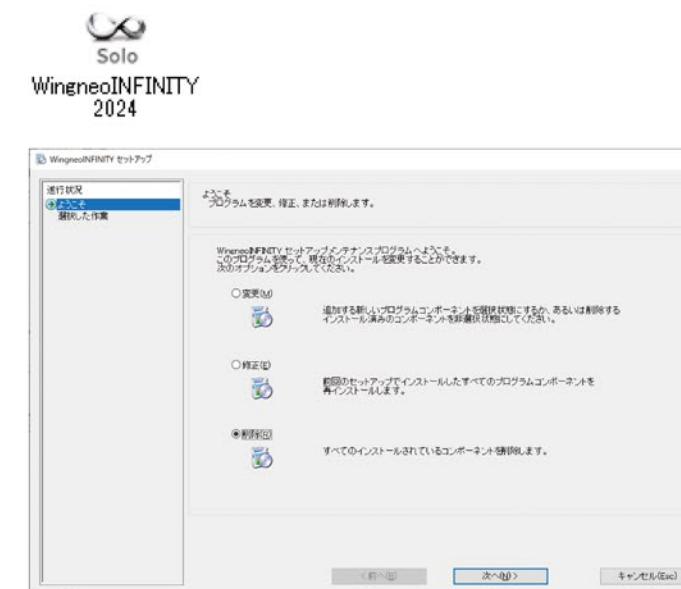
- 1 Wingneo®INFINITYを終了します。
- 2 PCを再起動します。
- 3 Wingneo®INFINITYのセットアップDVD-ROMをPCにセットします。「WingneoINFINITYインストールランチャ」が自動起動します。



- 4 まずWingneo®INFINITY追加プログラムを削除します。ランチャ画面で[WingneoINFINITY追加プログラム 2024]を選択して[実行(S)]をクリックします。メンテナンス用のWingneo®INFINITY追加プログラムセットアップが起動します。
- 5 [WingneoINFINITY追加プログラムの削除]を選択し、[完了]をクリックすると削除を開始します。



- 6 続いてWingneo®INFINITYを削除します。ランチャ画面で[WingneoINFINITY2024]を選択して[実行(S)]をクリックします。メンテナンス用のWingneo®INFINITYセットアップが起動します。
- 7 [削除]を選択し[次へ]をクリックします。
- 8 注意事項の説明画面が表示されますので[次へ]をクリックします。アンインストールの確認画面が表示されます。[開始]をクリックすると削除を開始します。
- 9 メンテナンスの終了画面が表示されます。[完了]でアンインストールを完了します。



ポイント — プログラムの削除をしても残るデータと対処

INFINITYのプログラム削除を行っても現場データや帳票・パーツなどの作成ファイルなどは削除されずに残ります。プログラムの再セットアップのための削除などの場合もあるためです。これらのデータは削除が必要な場合のみ「エクスプローラー」から削除ください。

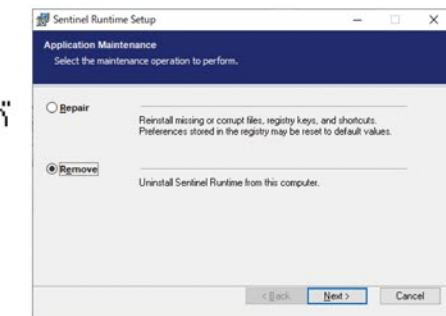
削除されないファイルの例 — (主にINFINITYサーバー、スタンドアロンがインストールされていたPCの場合)

- Wingneo®INFINITYサーバーのインストール時に共有設定をした各フォルダ
- WNL_DAT以下の現場データファイル
- WNL_SYS以下の帳票、パーツ、条件などの作成ファイル
- 名前などを変更されたショートカットファイル

続いて、HASPドライバやPDFドライバ(Antenna House)など、INFINITYでのみ使用していたドライバを必要に応じてアンインストールします。

操作手順 — 必要に応じて削除 (INFINITYでのみ使用している場合)

- 1 HASPドライバの削除
INFINITYインストールDVDから[HASPドライバ]を開きます。[Sentinel Runtime Setup]が表示されたら[Remove]を選択し[Next] → [Next] → [Finish]によってアンインストールできます。
- 2 PDFドライバ(Antenna House)の削除
PCの[コントロールパネル]—[プログラムと機能]から[Antenna House PDF Driver Vx.x] (x.xはバージョンを示す数字)をダブルクリックしアンインストールします。
※ 共有ファイルの削除の確認画面が表示される場合があります。
対象ファイル：sRGB2014.icc、JapanColor2001Coated.icc
[はい]をクリックするとファイルを削除します。
- 3 自在眼の削除



Windows®[エクスプローラ]からWingneo®INFINITY2024DVDを開き、[JizaiUninstall]フォルダにある[JizaiUninstaller.exe]を実行します。[削除]を押しアンインストールします。



自在眼から「Office Server Document Converter」へINFINITY2024より、自在眼に代わりOffice Server Document Converterを採用しました。INFINITY以外の用途が無い場合、上記方法により削除いただいで構いません。



3D点群ツールのアンインストール

PCにインストールされた3D点群ツールを削除します。

※ アンインストール時には、通常、インストールした時と同じユーザー名でログオンし、セットアップ(削除)を実行してください。インストールした時のユーザー名が不明の場合は、「Administrator」でログオンします。

! 注意

重要な現場データなどのファイルは、予めバックアップしてください。アンインストールでは、セットアップ以外でコピーしたファイル、作成されたファイルは削除しませんが、そのファイルを再利用するすべが無くなります。

🔗 操作手順

- 1 Wingneo®INFINITYを終了します。
- 2 Windows®の[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から「MMS-Editor(3D点群ツール)xxビット」を選択し、[アンインストール]ボタンをクリックします。
- 3 アンインストールの確認ダイアログが表示され、[はい]をクリックすると削除を開始します。



音声読み上げ機能用ファイルのアンインストール

PCにインストールされた音声読み上げ機能用ファイルを削除します。

※ アンインストール時には、通常、インストールした時と同じユーザー名でログオンし、セットアップ(削除)を実行してください。インストールした時のユーザー名が不明の場合は、「Administrator」でログオンします。

※ 「WingneoINFINITY付属プログラム」のDVD-ROMは、INFINITY 6の製品に付属しております青色のDVDをご利用ください。

🔗 操作手順

- 1 「Wingneo®INFINITY付属プログラム」のDVD-ROMをPCにセットします。
音声合成エンジン波形データのInstallShieldウィザードが自動で起動します。[次へ]をクリックします。
- 2 プログラムの保守画面が表示されます。[削除]を選んで、[次へ]をクリックします。
- 3 プログラムの削除画面が表示されます。[削除]をクリックすると、アンインストールが開始されます。
- 4 アンインストール完了画面が表示されます。[完了]をクリックします。



5 バージョンアップ

「WingneoINFINITY付属プログラム」のDVD-ROMは、INFINITY 6の製品に付属しております青色のDVDをご利用ください。

Wingneo®INFINITY、 追加プログラムのバージョンアップ

インストール済みのプログラム、出荷時標準データファイルなどがバージョンアップされた時、既存のインストール環境のままファイルを更新します。

! 注意

バージョンアップを行うには、管理者の権限が必要です。
バージョンアップする際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。

インストールした時と同じユーザー名でログオンし、バージョンアップを実行してください。
インストールした時のユーザー名が不明の場合は、「Administrator」でログオンします。

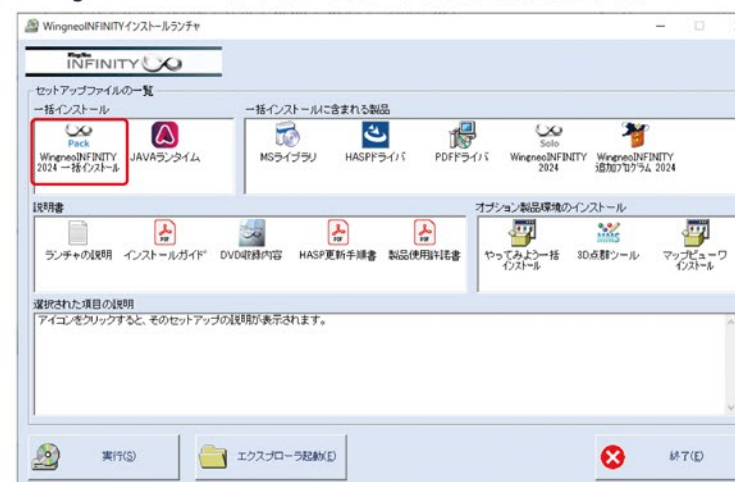
Pocketシリーズ、電子平板、MobileNeoの同期データが存在する場合は同期を完了させてから実行してください。

旧バージョンのINFINITYを32bit版、または[32bit版と64bit版を使い分ける]によってインストール・使用していたお客様は、INFINITY2024より64bit版に統一されるため、「WingneoINFINITYセットアップ」の[ようこそ]画面で[変更]をご選択ください。
[変更]のセットアップ後は、「WNI64PRG」フォルダの共有設定が必要となります。【P.10 参照】

実行前に、PCを再起動することをお勧めします。

🔗 操作手順

- 1 PCを再起動します。
- 2 新規導入時と同様に、新バージョンのセットアップDVD-ROMをPCにセットします。
- 3 「WingneoINFINITYインストールランチャ」が自動起動します。



[WingneoINFINITY2024一括インストール]に含まれる製品を順にインストールします。
・MSライブラリ ・HASPドライバ ・PDFドライバ
・WingneoINFINITY 2024
・WingneoINFINITY追加プログラム 2024

- 4 [WingneoINFINITY 2024一括インストール]をクリックし、[実行(S)]をクリックします。

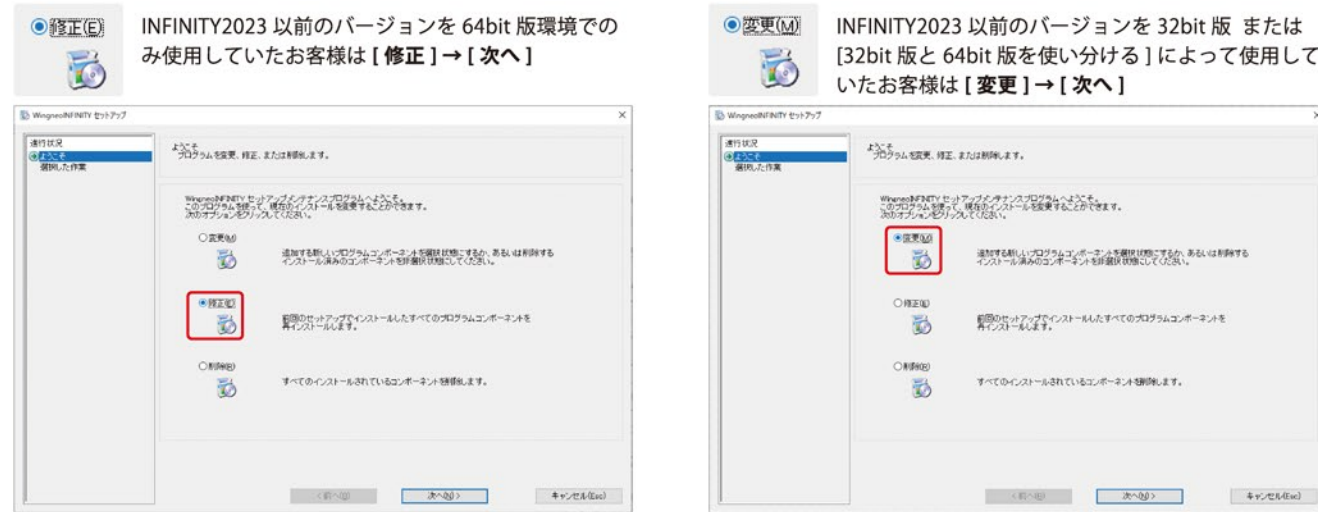


※ MSライブラリ、HASPドライバ・PDFドライバの更新についての作業推移について詳しくは【P.3~6】をご参照ください。

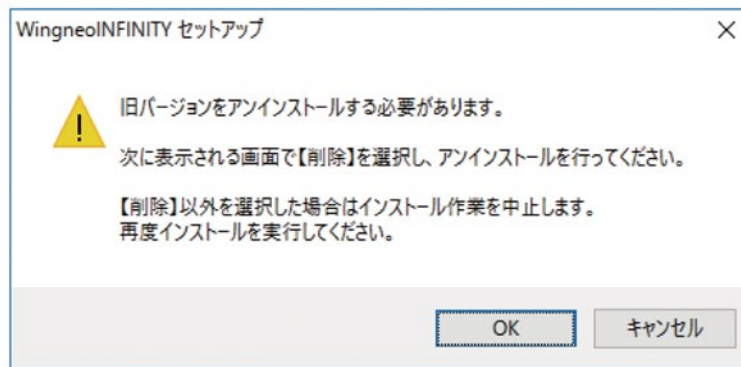
- 5 「以下の古いバージョンがインストールされています。続行しますか?」というメッセージが表示されます。[はい]をクリックします。



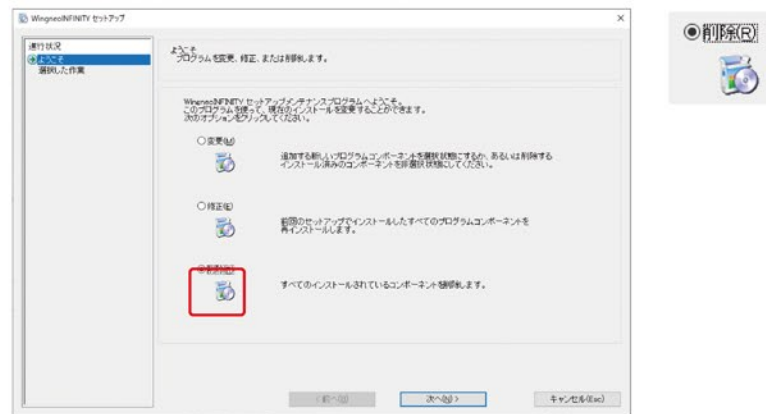
- 6 「ようこそ」画面が表示されます。
旧バージョンを64bit版のインストールでご使用されていたお客様は[修正]のまま[次へ]と進みます。
旧バージョンを32bit版 または[32bit版と64bit版を使い分ける]によって使用されていたお客様は[変更]を選択し、[次へ]と進みます。
※ INFINITY2024より64bit版での使用に統一されます。



- 7 注意事項の説明画面が表示されます。[次へ]をクリックします。
8 メンテナンス作業内容の確認画面が表示されます。[次へ]をクリックします。
9 メンテナンス作業内容の最終確認が表示されます。
※ Wingneo®INFINITY Ver.6以降からのバージョンアップは[次へ]をクリックし、プログラムのメンテナンス作業を行った後、P.28 操作手順12「INFINITYサーバー切り替えツール」へ進みます。
10 INFINITY Ver.5等からのバージョンアップは「旧バージョンをアンインストールする必要があります。」というメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。以下の①～④は旧バージョンアンインストールが表示された場合の進行です。



- 1 旧バージョンのセットアップ画面が表示されます。[削除]を選択して[次へ]をクリックします。



- 2 プログラムの変更、修正、削除の際の注意が表示されます。[次へ]をクリックします。
3 ファイル削除の確認画面が表示されます。[OK]をクリックします。
4 Wingneo®INFINITYのセットアップステータスが表示され、旧バージョンのアンインストールが開始されます。

- 11 メンテナンスの完了画面が表示されます。[完了]をクリックすると、続けて新バージョンのインストールが開始されます。
12 INFINITYサーバー切り替えツールが起動します。(クライアント実行環境がインストールされている場合のみ)



Wingneo®INFINITYのサーバーに設定しているPCを変更しない場合は、そのまま[OK]をクリックします。
Wingneo®INFINITYのサーバーに設定しているPCを変更する場合は、[ネットワーク一括設定]をクリックし、ネットワークPC名を選択し[OK]をクリックします【P.9 操作手順4参照】。
必要に応じて、PDFドライバライセンスのインストールを行います。【P.21 PDFドライバライセンスのインストールを参照】
旧バージョンと新バージョンのPDFドライバが同じであれば、PDFドライバライセンスをインストールする必要はありません。
INFINITYサーバー切り替えツールの画面に戻った後、[OK]をクリックします。
「変更内容をレジストリーに登録します。よろしいですか?」が表示されたら[はい]をクリックします。

- 13 メンテナンスの終了画面が表示されます。[完了]でWingneo®INFINITY2024プログラム本体のインストールを完了します。

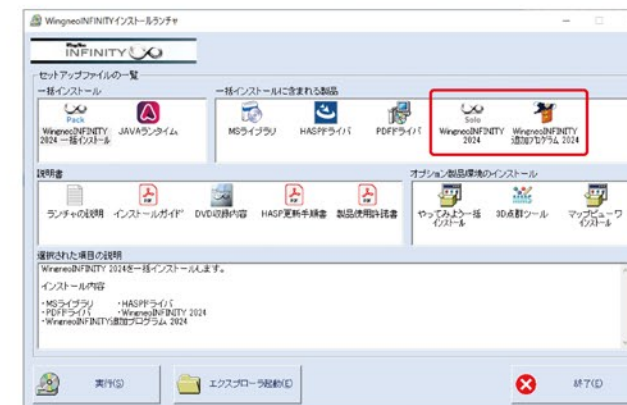
ポイント — 一括インストール後にINFINITY本体のセットアップ内容を変更したい

[WingneoINFINITY2024一括インストール]で一通りのインストール作業を完了すると、再度[WingneoINFINITY2024一括インストール]をやり直そうとしても各項目は「(インストール済み)」となります(右図)。

この状態からINFINITY本体・追加プログラムのセットアップ内容を変更したい・再セットアップをしたい場合には、下記の[一括インストールに含まれる]製品のインストール ショートカットから[変更][修正][削除]等を選択し行います。



全項目が (インストール済み)



(追加プログラム・JAVA™ランタイムのバージョンアップ)

14 一括インストールのチェックにそって、Wingneo®INFINITY追加プログラムのバージョンアップに進みます。セットアップ画面が表示されますので、画面に従ってインストールします。以下の①～③はINFINITY 追加プログラム2024のバージョンアップをする場合の進行です。

- 1 プログラムファイルのインストール先の選択画面が表示されます。インストール先を設定し、[次へ]をクリックします。標準ではC:\¥AisanTechnology¥Orgs¥の中にインストールされます。
※ 保存場所を変更する場合は、[参照]をクリックします。
※ Program Filesにはインストールしないでください。
本プログラムを動作させるためには、インストールフォルダ以下にファイル書き込みが行えるアクセス権を設定する必要があります。



- 2 ファイルコピーの開始画面が表示されます。そのまま[次へ]をクリックします。
- 3 インストール完了画面が表示されます。[閉じる]でバージョンアップを完了します。

15 必要に応じて、JAVA™ランタイムのバージョンアップを行います。【P.18 JAVA™ランタイムのセットアップを参照】
JAVA™ランタイムのバージョンアップが必要/不必要のご判断も上記参照ページでご確認ください。旧バージョンと新バージョンのJAVA™ランタイムが同じであれば、バージョンアップする必要はありません。



16 必要に応じて 3D点群ツールのアンインストールを行います。(P.25 参照)

17 必要に応じて 3D点群ツールのインストールを行います。(P.19 参照)



ポイント

ファイル構成や実行環境が大きく変更されたバージョンは、上記の方法によらないバージョンアップを行う場合があります。その際は、別途ご案内致します。

6 使用するプログラムの種類の変更

32bit版または[32bit版と64bit版を使い分ける]でインストールしたWingneo®INFINITY を、64bit版のWingneo®INFINITY に変更したり、INFINITYのセットアップタイプ(P.7 参照 サーバー&クライアント・スタンドアロン 等)を変更する場合に使用します。

注意

変更を行うには、管理者の権限が必要です。変更を行う際は、「Administrator」、または、「Administrators」グループに所属するユーザー名でログオンしてください。

32ビット版をインストールした時と同じユーザー名でログオンし、変更を実行してください。インストールした時のユーザー名が不明の場合は、「Administrator」でログオンします。

Pocketシリーズ、電子平板、MobileNeoの同期データが存在する場合は同期を完了させてから実行してください。

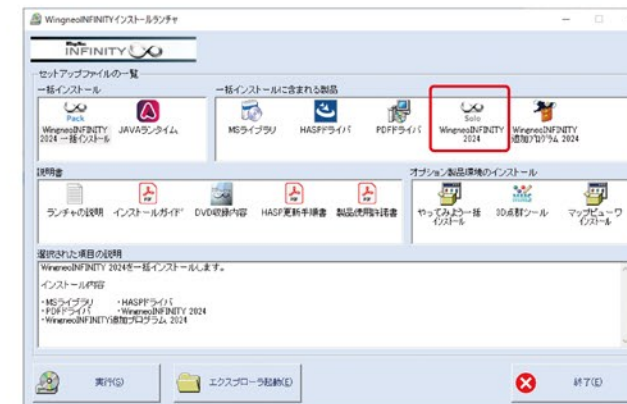
INFINITY2024へのバージョンアップ作業において、旧バージョンのINFINITYを32bit版または[32bit版と64bit版を使い分ける]によってインストール・使用していたお客様は、INFINITY2024より64bit版に統一されるため、「WingneoINFINITYセットアップ」の[ようこそ]画面で[変更]をご選択する必要があります。

[変更]のセットアップ後は、「WNI64PRG」フォルダの共有設定が必要となります。【P.10 参照】

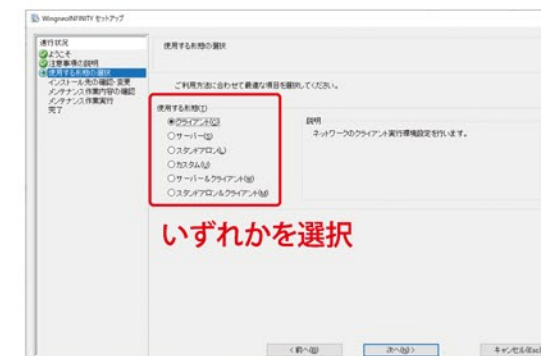
実行後に、PCを再起動することをお勧めします。

操作手順

- 1 Wingneo®INFINITYのセットアップDVD-ROMをPCにセットします。インストールランチャが自動起動します。
- 2 「一括インストールに含まれる製品」から[WingneoINFINITY2024]の場合は、を選択し、[実行(S)]をクリックします。[WingneoINFINITY2024 一括インストール]の場合は、MSライブラリ・HASPドライバ・PDFドライバのインストール完了後のWingneo®INFINITY 2024本体のインストール画面まで進みます。



- 3 「ようこそ」画面が表示されます。[変更]を選択して[次へ]をクリックします。
- 4 注意事項の説明画面が表示されます。[次へ]をクリックします。
- 5 使用する形態の選択画面が表示されます。インストールするセットアップタイプを選択し、[次へ]をクリックします。



- 使用する形態(T)
- クライアント(C)
 - サーバー(S)
 - スタンドアロン(L)
 - カスタム(U)
 - サーバー&クライアント(W)
 - スタンドアロン&クライアント(M)

- 6 インストール先の確認・変更画面が表示されます。インストール先を変更する必要がなければ、そのまま[次へ]をクリックします。
- 7 メンテナンス作業内容の最終確認が表示されます。[開始]をクリックすると、インストールが開始されます。
- 8 INFINITYサーバー切り替えツールが起動します。(クライアント実行環境がインストールされている場合のみ)



Wingneo®INFINITYのサーバーに設定しているPCを変更しない場合は、そのまま[OK]をクリックします。
 Wingneo®INFINITYのサーバーに設定しているPCを変更する場合は、[ネットワーク一括設定]をクリックして、ネットワークPC名を選択し[OK]をクリックします【P.9 操作手順④参照】。INFINITYサーバー切り替えツールの画面に戻った後、[OK]をクリックします。「変更内容をレジストリに登録します。よろしいですか?」が表示されたら[はい]をクリックします。



- 9 メンテナンスの終了画面が表示されます。[完了]でインストールを完了します。
- 10 PCを再起動します。
- 11 セットアップタイプの選択時に「サーバー」または「サーバー&クライアント」を選択した場合、かつINFINITY2023以前を32bit版・または32bit版と64bit版の併用で使用していた場合、INFINITY2024からは64bit版での利用となるため、[変更]のインストール後、「WNI64PRG」フォルダの共有設定を行います。【P.10 参照】

7 HASP更新ツール

Wingneo®INFINITYのバージョンアップ時やオプション構成の変更時には、HASPのライセンス情報を更新する必要があります。

HASP更新ツールのダウンロード

INFINITYのバージョンアップ等では、HASPのライセンス情報の更新が必要になります。
 更新プログラムは弊社サポートサイト「ATM'S Home」よりダウンロード頂けます。
 ATM'S Home 会員様専用サイトURL: <https://www.atmshome.jp/>



例：3つの HASP をお持ちのユーザー様

! 注意

お客様の環境で、「ライセンスファイルのダウンロードが正常に行えない」、「お持ちの基盤名称と異なる」、「基盤が不足している」等の障害が発生した場合には、お手数ですがインストールを中止いただき、最寄りの営業所、または代理店へ障害内容をご連絡ください。

ライセンスファイルの公開期間は3ヶ月とさせていただきます。必ず3ヶ月以内にファイルダウンロード、並びにライセンス更新を実行していただきますようお願い申し上げます。

🔧 操作手順

- 1 ATM'S Home 会員様専用サイトURL: <https://www.atmshome.jp/>にアクセスします。
- 2 ログイン用 IDとパスワードを入力し、ユーザーログインをします。
- 3 Wingneo®INFINITYのサポートページに移動し、オンラインサポートの[ライセンスダウンロード]をクリックします。
- 4 お客様がご所有のライセンス基盤番号 (Gから始まる10桁の英数字) に対する[ライセンスダウンロード]が表示されます。
- 5 それぞれのEXEファイル (HASPライセンス情報更新プログラム) をPCにダウンロードします。
 ※ ダウンロードファイルは「EXEファイル形式」のため、ウイルスチェックソフトが削除動作を行う場合は停止させてから取得してください。

HASP更新ツールの使用

HASPの更新を行います。バージョンアップ時やオプション構成の変更時にダウンロードしたEXEファイル (HASPライセンス情報更新プログラム) を使ってHASP内の情報を更新します。



注意

HASPのプロテクト情報を更新する際には、下記の環境で行ってください。

USBタイプのHASPを更新する場合には、必ずPC本体のUSBポートに更新するHASPを接続し、更新操作を行ってください。(他製品のHASPは接続しないでください。) 複数分割された外付けのUSBハブをお使いの場合、機器によっては正しく情報が更新できない可能性があります。

HASPを[INFINITYライセンス管理ツール]で[外業へのライセンス持ち出し]に設定している場合は、持ち出し状態のライセンスを元に戻した後、HASP更新を行ってください。

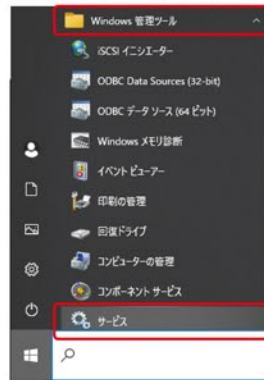
※「ネットワークライセンスの移動」を使用している場合もHASP更新はそのまま行えます。ただし、オプションを抹消する場合は、対象のオプションが1ライセンス以上HASPに存在していなければ抹消はできません。

Wingneo®INFINITYをすべて終了させた状態で更新してください。

ネットワークHASPの場合はWindows®のスタートメニューから[Windows管理ツール]—[サービス]を開き、[WOS2 Server Manager]を停止してから更新してください。

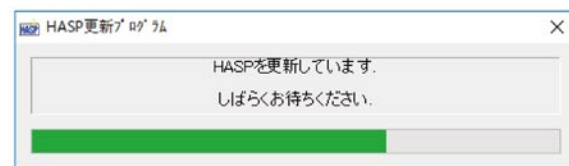
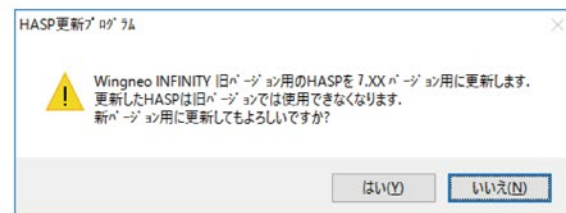
MobileNeo、電子平板、Pocketシリーズ等の同期データが存在する場合は、現場の同期によりデータ取り込みを行った後、バージョンアップを行ってください。データを破損する恐れがあります。

ウイルスチェックソフトが更新プログラムを削除する場合がありますので、実行時はウイルスチェックソフトを停止または終了させて行ってください。



操作手順

- 1 Wingneo®INFINITYを終了します。
ネットワークHASPの場合、Windows®のスタートメニューから[Windows管理ツール]—[サービス]を開き、[WOS2 Server Manager]を停止します。
- 2 あらかじめダウンロードしたHASP更新プログラム[Gxxxxxxx.exe]の基盤番号とHASPに記載された基盤番号が同じであることをご確認ください。
- 3 HASPをPC (USBポート) に装着します。
- 4 [Gxxxxxxx.exe]をダブルクリックし、画面に従って更新をします。
- 5 ネットワークHASPの場合は停止した [WOS2 Server Manager]を開始します。(PCの再起動でも開始されます。)



8 ライセンス管理ツール

ライセンス管理ツールでは、ネットワークライセンス・キーとモバイルライセンス・キー間のライセンス移動、ローカルライセンスの確認、外業への持ち出しライセンス設定、Pocketデバイスへのライセンス持ち出し設定が行えます。

操作手順

- 1 Windows®のスタートメニューより、[AisanTechnology INFINITY (64ビット版)]—[INFINITYライセンス管理 (64ビット版)]を起動します。
- 2 「ライセンスツール」画面が表示されます。



ネットワーク・キー&モバイル・キー間のライセンス移動

Wingneo®INFINITYでは製品をご購入された一事業所内において所有されているネットワーク・キーとモバイル・キー間のライセンス移動を可能にしています。ライセンスの移動は「ライセンスツール」画面の[ネットワークライセンスの移動]で実行します。



注意

ライセンスの移動は一事業所内において所有されているネットワーク・キーとモバイル・キー間のみ限定されます。2台以上のPC (サーバー&クライアント、モバイル・キーを別々のPC) で運用している場合に利用できます。

ライセンスの移動処理には時間を要する場合があります。完了するまではHASPを取り外したりネットワークケーブルを抜いたりしないでください。HASPが認識できなくなる可能性があります。HASPが破損した場合には、有償によるHASP交換となります。

モバイル・キーには各オプション1つまでが格納できます。

オプションにはベースとなるオプションに付随するサブオプションが存在する場合があります。サブオプションをライセンス移動だけではオプション起動ができませんのでご注意ください。

サブオプションかどうかの区別はライセンス一覧で確認ができます。(例: 拡張DMツールと基盤地図情報出力など)



PDAへPocket用として一部ライセンスを持ち出した状態ではライセンス移動は行えません。持ち出したライセンスをHASPへ返却後に実行してください。(ライセンス一覧に「外」と表示されます。)

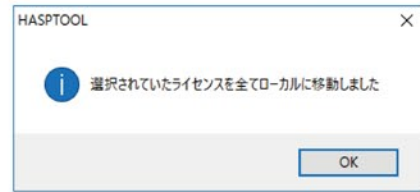
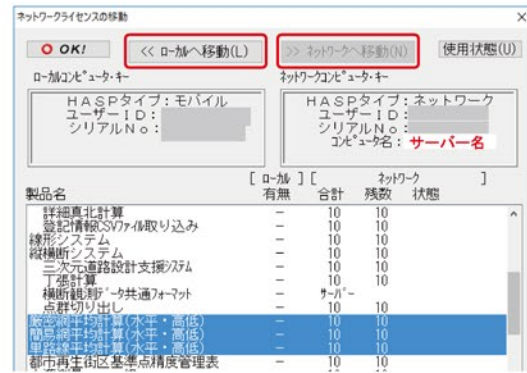
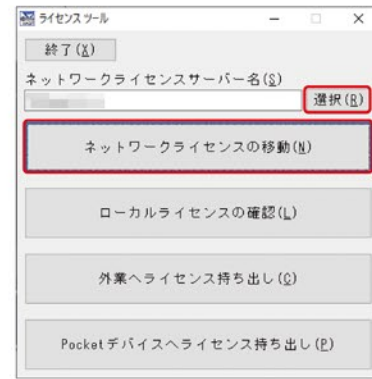
ポイント

同一ネットワーク上において、移動したいライセンスを有するHASPキー (ネットワーク・キー、またはモバイル・キー) を装着しているPC名が認識できる状態であることが必要です。

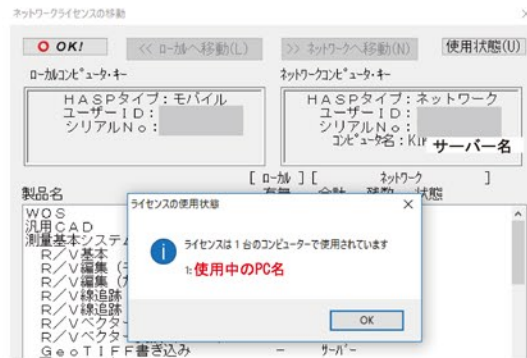
電子平板へのライセンス持ち出し

操作手順

- 1 ネットワークHASP がネットワークライセンスサーバーのPCに装着されていることを確認します。
- 2 操作するPCにモバイルHASPを装着します。
- 3 Windows®のスタートメニューより、[AisanTechnology INFINITY (64ビット版)]-[INFINITYライセンス管理 (64ビット版)]を起動します。
- 4 [ネットワークライセンスサーバー名]の[選択]ボタンをクリックして、ネットワーク上のライセンスサーバーを指定します。
- 5 [ネットワークライセンスの移動]をクリックします。
- 6 移動するライセンスを指定します。
(複数選択する場合は[Ctrl]キーを押しながら指定します。)
- 7 [ローカルへ移動] (モバイル・キーにライセンスを持ち出す場合)、または [ネットワークへ移動] (モバイル・キーからサーバーにライセンスを戻す場合) をクリックします。
- 8 移動が完了したらメッセージが表示されます。



※ [使用状態]
ネットワーク上で現在使用されているライセンスを選択した状態でクリックすると、現在使用しているPCが何かを確認することができます。

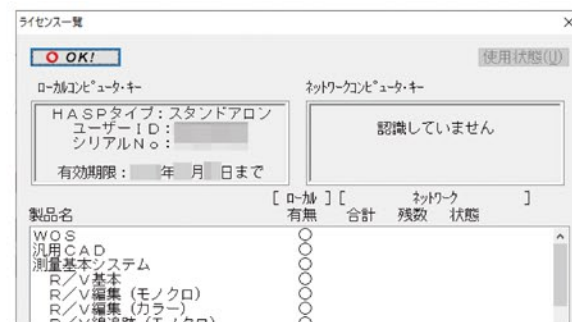


ローカルライセンスの確認

Wingneo®INFINITYを起動せずにHASPキー内のライセンス情報を確認する機能です。キーのタイプやオプションライセンスの構成・基盤番号(ユーザーID)・シリアルNoなどを確認することができます。

操作手順

- 1 HASPをPCに装着します。
- 2 Windows®のスタートメニューより、[AisanTechnology INFINITY (64ビット版)]-[INFINITYライセンス管理 (64ビット版)]を起動します。
- 3 [ローカルライセンスの確認]をクリックします。
- 4 ライセンス確認画面に一覧が表示されます。



Wingneo®INFINITYでは、スタンドアロンライセンス・キー、またはモバイルライセンス・キーを[電子平板]として屋外にて使用できます。
使用までの流れは、スタンドアロン・キーまたはモバイル・キーのHASPを[外業へのライセンス持ち出し]によって持ち出し用に変更し、プログラム(電子平板)の起動時のみ装着していればその後は取り外しが可能となり、電子平板として使用できるようになります。

ポイント

起動時のみHASP内のライセンス情報をチェックし、その後は取り外しての運用ができます。
Windows®のスタートメニューより、[AisanTechnology INFINITY (64ビット版)]-[INFINITYライセンス管理 (64ビット版)]を起動し、[外業へライセンス持ち出し]を選択すると、HASPを「通常HASP」、「持ち出しHASP」に切り替えることができます。

注意

[持ち出しHASP]と設定した場合には設定したPC専用のHASPとなりますので、HASPに様々なライセンスが入っていても、外業用プログラム(電子平板)だけでなくWingneo®INFINITYとしても他のPCでは使用できなくなります。

Wingneo®INFINITYを終了せずに日付が変わった場合には、再度HASPが必要になります。

「持ち出しHASP」設定した状態でHASPのバージョンアップやオプション追加等は行えません。
必ず「通常HASP」状態に戻してから実行してください。

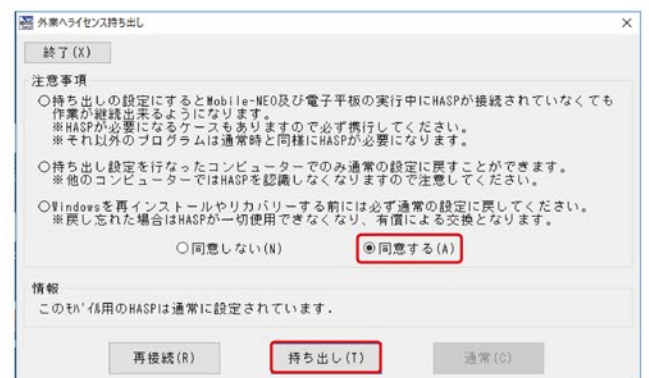
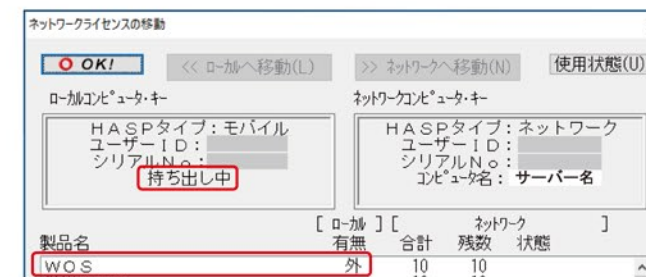
OSを再インストールする場合には、必ず「通常HASP」に設定を戻してください。戻し忘れた場合は、HASPが使用できなくなり、有償によるHASP交換となります。

操作手順

- 1 持ち出して使用するPC(電子平板本体)にHASPを接続します。
- 2 Windows®のスタートメニューより、[AisanTechnology INFINITY (64ビット版)]-[INFINITYライセンス管理 (64ビット版)]を起動します。
- 3 [外業へライセンス持ち出し]を選択します。
- 4 注意事項を読み、[同意する]を選択します。
- 5 [持ち出し]を選択します。
- 6 確認メッセージが表示されますので[はい]を選択します。
「持ち出し用に変更しました。」と表示され、設定は完了です。

※ 外業へのライセンス持ち出しを行った場合、「ネットワークライセンスの移動」や「ローカルライセンスの確認」の画面では、ローカルキーの状態が「持ち出し中」となり、製品名の「WOS」の[ローカル]項目が「外」と表示されます。

外業へのライセンス持ち出し設定中の状態



※ 通常に戻す場合は、[通常]ボタンをクリックすると、通常のHASPに戻すことができます。

操作手順 — 外業持ち出し状態でのINFINITY起動手順

- 1 HASPを装着した状態でWingneo®INFINITYを起動します。
- 2 WingFan!より電子平板を起動すると、確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックしてHASPを取り外します。(通常HASP状態の場合には、このメッセージは表示されません。)
- 3 起動後は今まで通り使用できます。

PDAへPocketシリーズとしてライセンス持ち出し

Wingneo®INFINITYでは、ライセンスの一部を、スタンドアロン・キー、またはモバイル・キーより専用ライセンスカード (MicroSD™カード) に一時的に移動させ、「持ち出し版のPocketシリーズ」として使用することができます。

ポイント

Wingneo®INFINITYのライセンスを持ち出してPocketシリーズプログラムを動作させることができます。

2023年3月現在、Wingneo®INFINITY 2024のライセンスのうち、専用のMicroSD™ライセンスカードへライセンスを一時的に移動して使用可能なPocketシリーズ製品は、以下の4製品です。

PocketNeo® II・PocketNeo® III 移動可能なライセンス: 「測量基本システム」「リモートコントローラ」「リモートコントローラLite」「縦横断システム」「水準測量3、4級」「線形システム」「現況作図」

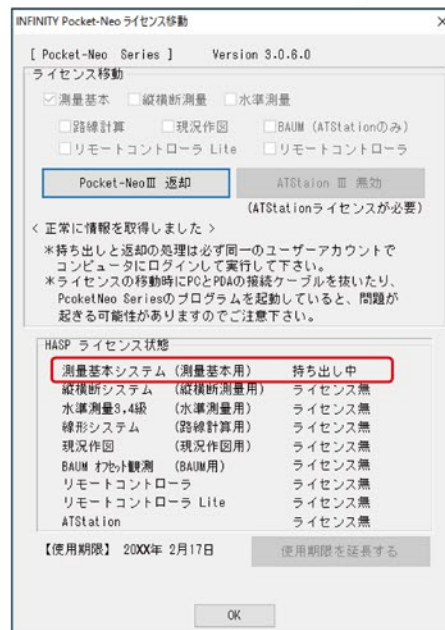
ATStationPocket II・ATStationPocket III 移動可能なライセンス: 「ATStation」+「測量基本システム」「リモートコントローラ」「縦横断システム」「水準測量3・4級」「線形システム」「現況作図」「BAUMオフセット観測」「ATStation」

※ 「ATStation」ライセンスへの対応はWingneo®INFINITY Ver.1.10より対応しています。

Wingneo®INFINITYのWingFan!よりPocketNeo®同期機能を使って現場データの同期が行えます。

注意

- 本機能を使用するには専用MicroSD™ライセンスカードが必要です。
- PocketNeo® II、ATStationPocket II が動作する環境は、Windows® Mobile 2003SE/5.0/6.x (Classic/Professional) です。PocketNeo® III、ATStationPocket III が動作する環境は、Windows® Embedded Handheld 6.5です。
- Wingneo®INFINITYからのライセンスの移動(持ち出し)にはMicrosoft® Windows® Mobileデバイスセンターが必要です。
- 持ち出しライセンスには持ち出し期限があります。1回の持ち出しで10日間使用することができます。11日経過するとPocketNeo®が起動できなくなります(PC側でのデータ同期取込、およびライセンス返却は行えます)。
※ 使用期限は、Pocketシリーズを起動し、[システム設定]—[バージョン情報]—[ライセンス情報]で確認できます。(Windows®のスタートメニューより、[AisanTechnology INFINITY (64ビット版)]-[INFINITYライセンス管理 (64ビット版)]を起動し、[Pocketデバイスへライセンス持ち出し]を選択することでも確認できます。)
- 「持ち出し版PocketNeo® II」「持ち出し版PocketNeo® III」「持ち出し版ATStation-Pocket II」「持ち出し版ATStationPocket III」では、製品版PocketNeoSeriesと同じプログラムを使用します。
- ライセンス持ち出しを行ったPCとライセンス・キー (HASP) は関連性を保持します。そのため、いずれかのライセンスをPDAへ持ち出したHASPは、これを設定したPC専用のHASPとなりますので、異なるPCで使用することができなくなります。ただし、持ち出すライセンス毎にPDAのデバイス(専用ライセンスカード)は異なっても構いません。



PDAへ持ち出し中に設定したPCで、Wingneo®INFINITYを起動すると使用中(ライセンス一覧では「外」と表示されます)となり、ライセンスを返却するまでWingneo®INFINITYは使用できません。

持ち出したライセンスの返却は、持ち出し時に使用したPCを使い持ち出したHASPへのみ返却できます。

持ち出し用のPCと持ち出し用のHASPのペアを決めていただき、持ち出し/返却を行う運用をお勧めいたします。

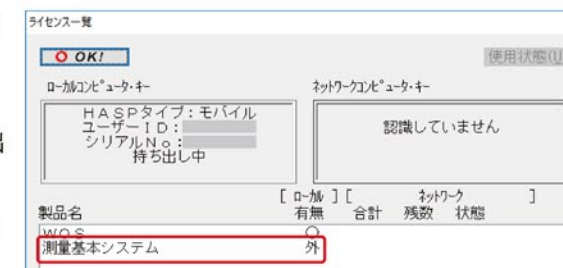
「持ち出し版Pocketシリーズ」ではPDA側でSIMA/APA等の外部ファイル出力機能を利用できません。外部へのデータ入出力はWingneo®INFINITYを介して行います。

持ち出し用PCのOSを再インストールする場合には、必ず持ち出したライセンスをHASPへ返却してから行ってください。返却し忘れた場合には持ち出したライセンスをHASPに戻せなくなります。そのような場合には、最寄りの営業所へご連絡ください。

PCとの「Windows® Mobileデバイスセンター」での接続を確実にを行うため、接続時はウイルスチェックソフトのファイアウォールを無効にしてご利用ください。

ライセンスの持ち出し/返却作業時(PocketNeo®同期中)には電源の確保を行い、HASPを取り外したりUSBケーブル等を抜いたりしないでください。HASPや専用ライセンスカードが認識できなくなる可能性があります。

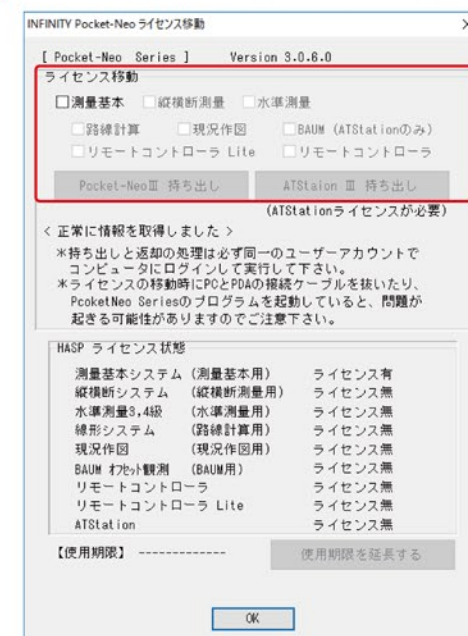
HASP・専用ライセンスカードが破損した場合には、有償による交換となります。



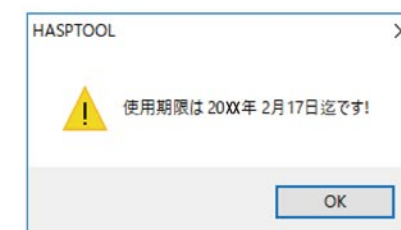
操作手順 — Pocketシリーズライセンスの持ち出し

※ Pocketシリーズの詳細な機能、及び操作方法については別冊「Pocketシリーズ取扱説明書」をご覧ください。

- 1 PCにHASP (モバイル/スタンドアロン) を接続します。
- 2 PDAをPCに接続します。Windows® MobileデバイスセンターによってPDAが自動的に接続されます。(PocketNeo®シリーズは起動しません。)
- 3 PCでWindows®のスタートメニューより、[AisanTechnology INFINITY (64ビット版)]—[INFINITYライセンス管理 (64ビット版)]を起動します。
- 4 [Pocketデバイスへライセンス持ち出し]をクリックします。
- 5 持ち出して使用したいオプションライセンスにチェックを入れます。
- 6 [Pocket-Neo II (III) 持ち出し]または[ATStation II (III) 持ち出し]をクリックして持ち出しを実行します。
- 7 使用期限が表示されますので、確認して[OK]をクリックします。



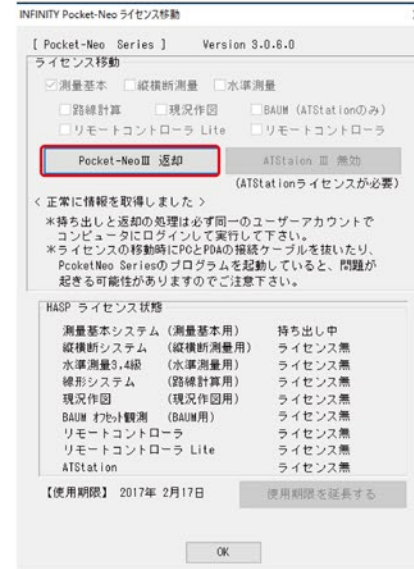
※ 持ち出した翌日以降に[Pocketデバイスへライセンス持ち出し]を起動すると使用期限の延長が行えます。



ライセンス移動と外業製品への持ち出しイメージ

操作手順 — Pocketシリーズライセンスの返却

- 1 PDAへのライセンス持ち出しに使用したPCとHASP (モバイル/スタンドアロン) を準備します。
- 2 PDAをPCに接続します。Windows® MobileデバイスセンターによってPDAが自動的に接続されます。
(PocketNeo®シリーズは起動しません。)
- 3 PCのWindows®のスタートメニューより、[AisanTechnology INFINITY (64ビット版)]— [INFINITYライセンス管理 (64ビット版)]を起動します。
- 4 [Pocketデバイスへライセンス持ち出し]をクリックします。
- 5 返却可能な製品が表示されますので、[Pocket-Neo II (III) 返却]または [ATStation II (III) 返却]をクリックして返却します。
(持ち出したライセンスは全て返却されます。)
- 6 [OK]をクリックして画面を閉じます。



※ 「リモートコントローラ」「リモートコントローラLite」の各オプション (PocketNeo® III、ATStation IIIは「リモートコントローラ」のみ) を一緒に持ち出すことができます。

•PocketNeo® II 観測メニュー/PocketNeo® III 観測メニュー

- 測量基本:座標・区画データを持ち出せて「測量基本システム」ライセンスを使用します。
- 縦横断:縦横断データを持ち出せて「縦横断システム」ライセンスを使用します。
- 水準:Pocket水準作業用の現場を作成し「水準測量3、4級」ライセンスを使用します。
- 路線:「線形システム」ライセンスを使用します。測量基本の持ち出しが必須です。
- 現況作図:「現況作図」ライセンスを使用します。測量基本の持ち出しが必須です。

•ATStation II 観測メニュー/ATStation III 観測メニュー

- 測量基本:座標・区画データを持ち出せて「ATStation」「測量基本システム」ライセンスを使用します。
- 縦横断:縦横断データを持ち出せて「ATStation」「縦横断システム」ライセンスを使用します。
- 水準:Pocket水準作業用の現場を作成し「ATStation」「水準測量3、4級」ライセンスを使用します。
- 路線:「線形システム」ライセンスを使用します。測量基本の持ち出しが必須です。
- 現況作図:「現況作図」ライセンスを使用します。測量基本の持ち出しが必須です。
- BAUM:「BAUMオフセット観測」ライセンスを使用します。ATStation II Ver.2.0から持ち出しが可能です。

※ 現場データの同期、転送はWingFan!を起動して[Pocket-Neo]より実行します。

PocketシリーズとWingneo®INFINITYを同期させて観測データを管理する場合、Wingneo®INFINITYからPocket用の現場を作成すると、新規データのみを転送する処理が選択できます。

何度も同一現場の追加観測を行う場合には、予め、Wingneo®INFINITYのWingFan!より同期でPocket用の現場作成を行うことをお薦めします。

Pocket側で作成した現場データをWingneo®INFINITYへ何度も転送すると、観測データの新旧管理ができません。

重複登録してしまいますのでご注意ください。

転送・取込時の各条件は以下の図を参照ください。



INFINITY より Pocket 現場作成時の転送画面



Pocket で新規に現場作成時の転送画面

事務所



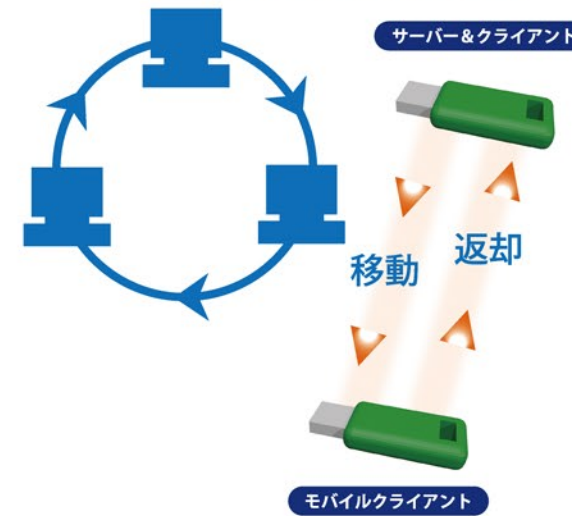
[INFINITYライセンス管理]ツールを使ってHASPのライセンスをPDAへ持ち出します。
(持ち出し先には専用MicroSD™ ライセンスカードが必要です。複数カードがあれば個々に必要なオプションライセンスを移動することも可能になります。※移動有効期間は10日です。)

現場



事務所 ネットワーク

ライセンスの移動・返却

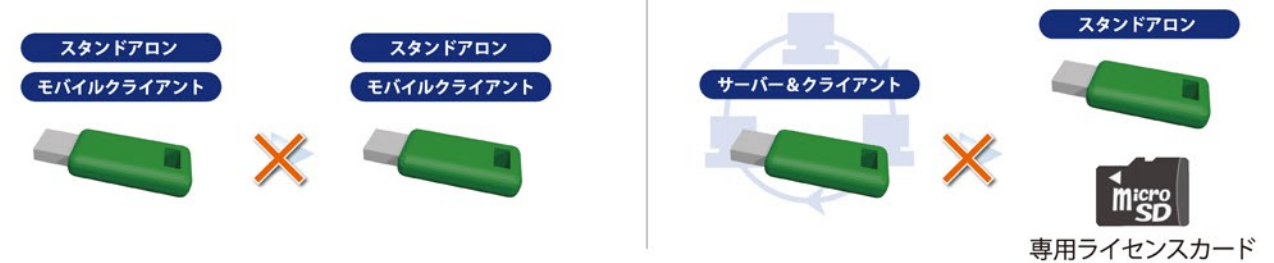


ネットワーク上のサーバーHASP からモバイルHASP へライセンスを移動できます。

※ ネットワーク上でモバイルPC側からサーバーPCを指定しますので、同一ネットワーク上でPCを認識している必要があります。



ライセンス移動不可の構成



スタンドアロンやモバイルクライアントHASPから同種のHASPへのライセンス移動はできません。
サーバー&クライアント(ネットワーク)HASPからスタンドアロンHASPへのライセンス移動はできません。
同一事業単位以外のHASP間でのライセンス移動はできません。

9 Wingneo®データのコンバート

Wingneo®INFINITYはWingneo®を継承しており、Wingneo®現場データをコンバートして取り込むことができます。

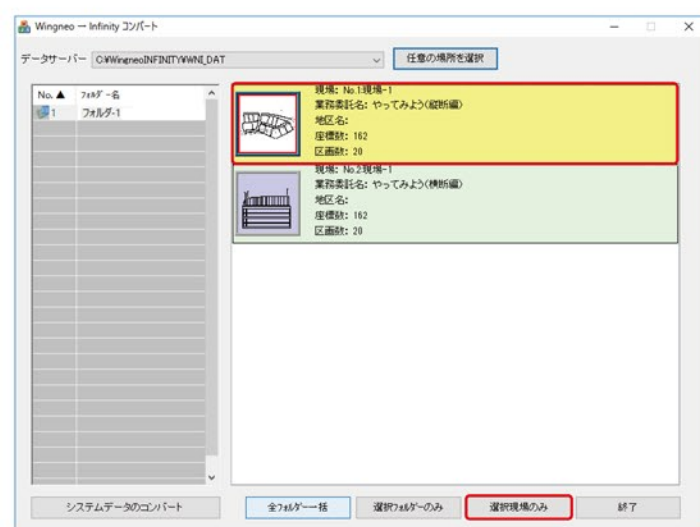
操作手順

- 1 Wingneo®INFINITYを起動します。
- 2 WingFan!で[現場一覧]タブに切り替えます。
- 3 [新規フォルダ]をクリックして現場フォルダを作成します。
- 4 メニューの[外部保存]をクリックして[Wingneoデータコンバート]を選択します。



- 5 「Wingneo データコンバート」が起動しますので、対象データのあるWingneo®データサーバーを指定します。現場一覧が表示されますので、コンバートしたい現場をクリックして指定します。

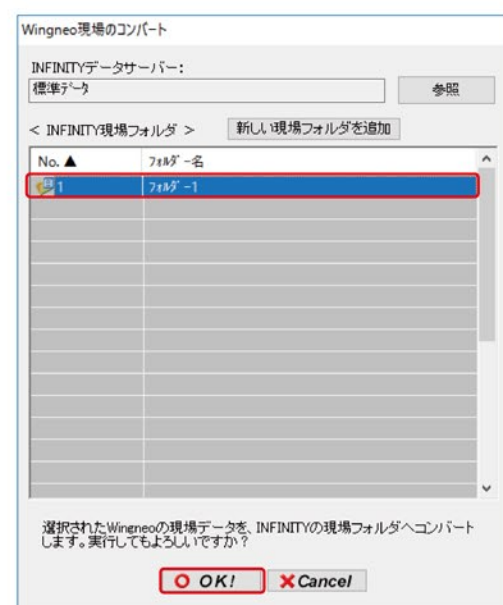
※ 指定した現場をコンバートするには[選択現場のみ]をクリックします。必要に応じて全フォルダ一括、選択フォルダ単位でのコンバートも行えます。



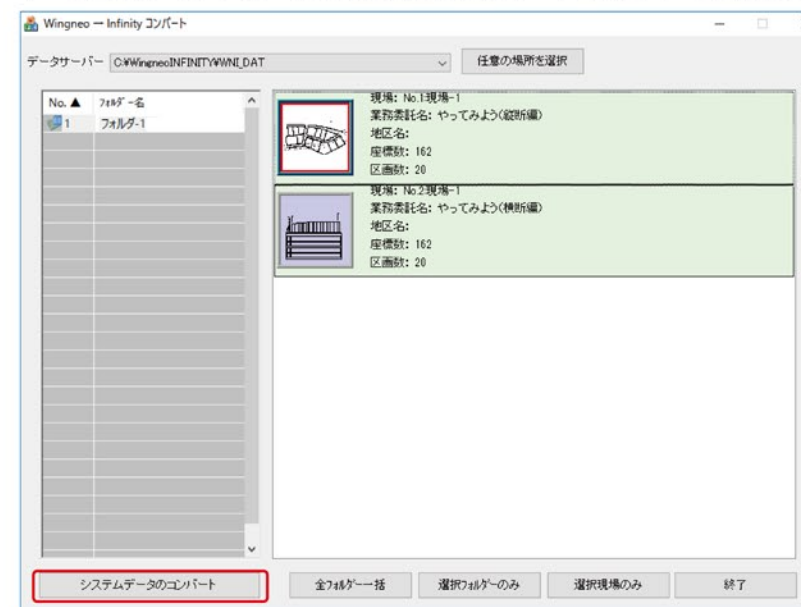
- 6 コンバートしたデータの保存先を選択する画面が表示されますので、保存フォルダを指定して[OK]をクリックします。

- 7 完了のメッセージが表示されたらデータコンバート完了です。

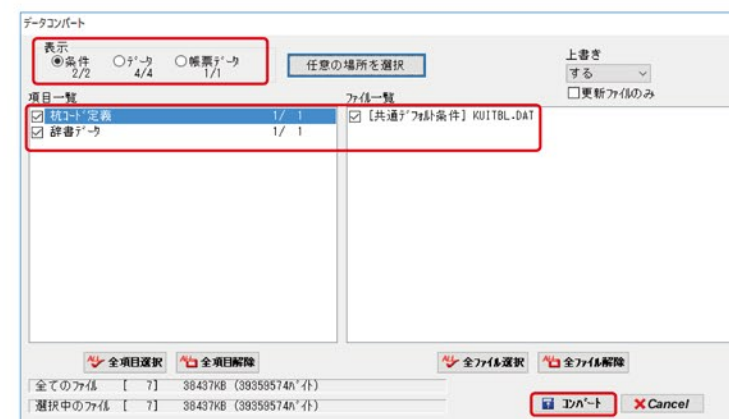
※ 所要時間は容量により異なります。一括コンバートなどを実施する場合には、コンバート先に十分な容量があることを確認して実行してください。



- 8 次にWingneo®のシステムデータをコンバートします。データコンバートメニュー画面左下の[システムデータのコンバート]をクリックします。



- 9 条件データやオリジナルで作成した帳票などのシステムデータをチェックして[コンバート]をクリックします。



※ 同一PC内にWingneo®がインストールされている場合はシステムデータの場所を認識します。新しいPCにWingneo®INFINITYをセットアップした場合は[任意の場所を選択]をクリックして「WOS_SYS」の場所を指定します。